



2021 コーポレー ト・シチズンシップ・レポート

目次

— CEO (最高経営責任者) からのご挨拶	2	— 責任ある事業慣行	20	— 寄付とボランティア活動	40
		エシックス、コンプライアンス、行動規範		寄付	
— TI の概要	3	ガバナンス		ボランティア活動	
— TI のコミットメント	4	サプライ・チェーンの責任		— 付録	47
コーポレート・シティズンシップに対する TI のアプローチ		紛争鉱物		気候関連財務情報開示	
レポートの概要		労働と人権		作業部会	
— 環境維持への取り組み	5	リスク管理と事業継続性		サステナビリティ会計基準委員会	
環境維持へのコミットメント		情報保護		グローバル報告構想	
温室効果ガス 排出量		政策提言		確約書	
エネルギー		— 職場環境	30		
水管理		労働力の比率			
廃棄物と原材料の管理		多様性と包括性			
大気汚染物質		採用			
製品の品質と耐用期間		開発			
製品の流通		給与と福利厚生			
		安全と健康			

CEO (最高経営責任者) からのご挨拶

TI (テキサス・インスツルメンツ) は数十年にわたり、半導体によってエレクトロニクスをだれもが手に届く手ごろなものにし、より良い世界を作り上げる、という熱意をもって事業を運営してきました。世代ごとに、技術の信頼性、手ごろな価格設定、低消費電力化は改善が進み、半導体製品を使用する顧客と市場の数は増加を続けてきました。

TI の創設者たちには、優れた企業を築き上げるには、長期的な成長に貢献する特別な文化が必要であるという知識や先見性がありました。長年にわたって、TI は3つの重要な目標を念頭に置いて事業を運営してきました。

- 第一に、私たちは、今後数十年にわたって会社を所有するオーナーと同様の立場で行動します。
- 第二に、私たちは、絶えず変化を続ける世界に適応し、成功を収めます。
- 第三に、私たちは、社員であることを誇りに思える会社、地域の隣人として望ましい会社であることを目指します。

私たちの目標は、持続可能性があり、社会的に思慮深く、環境に責任を持てる方法で TI が事業を確実に進めるための土台になります。私たちがこれらの目標の達成に成功すれば、TI の従業員、顧客、コミュニティ、ステークホルダーはいずれも勝者になることができます。

2021 年は、COVID-19 のパンデミックに関連する世界的な問題に直面しましたが、TI は従業員の安全性への配慮を続け、お客さまのニーズに対応するとともに、このパンデミックに対処する方法を通じてコミュニティに貢献することができました。TI 従業員が適応性を発揮し、行動したことを私は引き続き誇りに思います。これまでの数十年を通じて、課題が多い年こそ、TI の方針決定の指針として会社の目標が非常に大きな役割を果たすことを学んできました。



▶ 2021 年の主な出来事

TI のチップあたりの効率が引き続き向上 -

どちらの数値も 2015 年をベースラインとし、適用範囲としている Scope 1 と 2 の GHG (温室効果ガス) の絶対排出量 (総量) **18.6%**、またチップあたりのエネルギー原単位レベルを **33%** 低減しました。

会社の廃棄物と余剰原材料のうち **90%** を再利用またはリサイクルしました。

Human Rights Campaign (HRC: ヒューマン・ライツ・キャンペーン) の Corporate Equality Index (会社別機会均等インデックス) で **100%** の評価を 6 年連続で獲得しました。

米国の従業員母集団全体と比較して、黒人、ヒスパニック、ラティノーとラティーナ (ラテンアメリカ系の男性と女性) の代表率は安定的また一貫性のある方法で改善を遂げました。黒人、ヒスパニック、ラティノーとラティーナ (ラテンアメリカ系の男性と女性) の従業員が米国の従業員母集団全体に占める比率は **20%** です。

(TI Foundation、TI 従業員や退職者との協力を含め) TI の各種コミュニティのニーズに対応できるように **6,100 万ドル** 以上の金額を寄付しました。その中には、教育分野への 3,500 万ドル以上の寄付がありました。

これは、半導体を通じてエレクトロニクスを手ごろなものにし、より良い世界を作り上げるという熱意を追い求めるための立場や手段です。私たちの目標は、長期間にわたる私たちの意思決定の指針であり、TI の製品はより良い世界を作り出すのに役立っています。このことを踏まえ、私たちの取り組みは影響力があり、長期的に持続すると確信しています。

リッチ・テンブルトン
会長、社長兼最高経営責任者 (CEO)

TI の概要

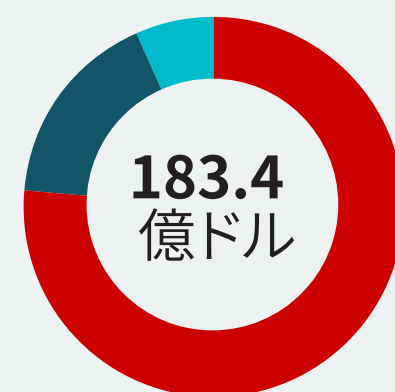
- 1930 年に創設
- 本社は米国テキサス州ダラス
- 株式公開済み (Nasdaq:TXN)
- リッチ・テンプレートン 会長、社長兼最高経営責任者 (CEO)

約 31,000 人の従業員の内訳:

- 南北アメリカ 約 13,000 人
- アジア太平洋 約 16,000 人
- 欧州 約 2,000 人

- 世界各地に合計 15 の製造拠点を置き、毎年数百億個のチップを製造
- 100,000 社を上回るお客さま向けに約 80,000 種類の製品を製造
- TI の 2021 年の売上高で、産業用と車載は合計 62% を占めています

2021 年の売上高

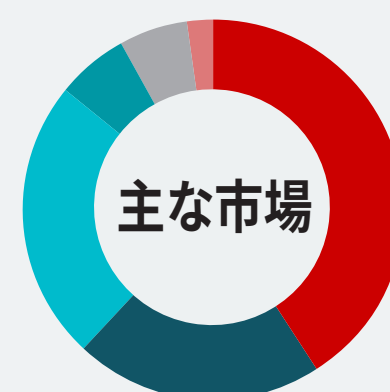


\$14.1 アナログ
\$3.1 組込み
\$1.3 その他

(10 億ドル単位)

資本的支出: 25 億ドル
R&D (研究開発): 16 億ドル

市場別の売上高



- 産業用 - 41%
- 車載 - 21%
- パーソナル・エレクトロニクス - 24%
- 通信機器 - 6%
- エンタープライズ・システム - 6%
- その他 - 2%

世界各地の製造拠点¹



● ウェハー・ファブ
● アセンブリ/テスト施設
★ TI 本社

設計拠点

- インド、バンガロール
- テキサス州ダラス
- 台湾、新台北 (新北市、シンペイ)
- カリフォルニア州サンタクララ
- 中国、上海
- 中国、深圳 (シンセン)
- テキサス州シュガーランド
- アリゾナ州ツーソン

製造拠点

- 日本、福島県会津若松市
- メキシコ、アグアスカリエンテス
- フィリピン、バギオ
- 中国、成都 (チェンドウ)
- テキサス州ダラス
- ドイツ、フライジング
- マレーシア、クアラルンプール
- ユタ州リーハイ
- マレーシア、ムラカ (マラッカ)

- 日本、茨城県美浦村
- 台湾、新台北 (新北市、シンペイ)
- フィリピン、パンパンガ (クラーク)
- テキサス州リチャードソン
- テキサス州シャーマン
- メイン州サウスポートランド



テキサス州リチャードソン

¹TI が定義する主要運営拠点 (重要拠点) とは、面積が 50,000 平方フィート (4,621 平方 m) 以上である、または 2021 年 12 月 31 日時点で従業員数が 100 人を超えるすべての製造施設、すべての設計拠点、およびすべての販売拠点のことです。

コーポレート・シティズンシップに対する TI のコミットメント

TI は良好なコーポレート・シティズン を維持し、私たちを取り巻くコミュニティと世界各地に以下の 2 つの方法で影響を及ぼしていることを大いに誇りに思います。

- 第一に、私たちの目標は TI が業務を遂行する方法の指針を示すと同時に、持続可能性があり、社会的に思慮深く、環境に責任を持てる方法で事業を確実に進めるための土台になります。これらの目標の中心にあるのは、すべてのステークホルダーに有益な結果をもたらすために、会社は長期間にわたってより強力になるように成長を続ける必要がある、という確信です。
- 第二に、より良い世界を築き上げ、環境に及ぼす影響を低減するのに役立つ手段として、半導体は重要な役割を継続的に果たします。



レポートの概要

2006 年以来、TI はプログラムに関する情報、複数の目標、各目標に関する進捗状況、関連データを公開してきました。その中で、良好なコーポレート・シティズンの立場を維持するためのコミットメントの一環として、環境、社会、ガバナンス (ESG)、持続可能性 (サステナビリティ) の優先順位を重視してきました。これまでの年と同様、TI の 2021 年コーポレート・シティズンシップ・レポートは、これらの広く受け入れられているレポート・フレームワークを使用して、TI の事業に関連する ESG のさまざまな分野で TI がどのように考え、どのように行動しているか、という洞察を明らかにしています。

- The [グローバル・レポーティング・イニシアティブ](#) (GRI).²
- The [気候関連財務情報開示作業部会](#) (TCFD).³
- The [サステナビリティ会計基準委員会](#) (SASB).⁴

加えて、TI は [CDP](#)⁵ の Climate Change (気候変動) と Water Security (水の安全保障) に関する各アンケート調査に参加し、[TI.com/ccr](#) (英語) で両方を公開しています。

このレポートを強力なものにするために、TI は毎年社内と社外のステークホルダーから意見を募り、第三者からの持続可能性 (サステナビリティ) 評価や同業他社のベンチマーク (基準、達成状況) のトレンドとベスト・プラクティスも検討しています。そして、それらの入力を会社の優先順位と比較し、TI の年次コーポレート・シティズンシップ・レポートにどのトピックと開示事項を掲載するかを決定します。

²GRI (Global Reporting Initiative: グローバル報告構想) は国際的な独立機関であり、企業がその影響を伝達するためのグローバルな共通言語を提供することで、企業がその影響に責任を負うことができるよう支援しています。

³Financial Stability Board (財務安定性委員会) は、機構に関連する、より効果的な開示の勧告を策定するための TCFD (Task Force on Climate-Related Financial Disclosures: 気候関連財務情報開示作業部会) を設立しました。TCFD はいっそう多くの情報に基づいて、投資、与信、保険の査定に関する決定を推進することができます。

⁴SASB は独立系の非営利団体であり、企業が自社の投資家宛に持続可能性 (サステナビリティ) 情報を開示するための指針となる一連の規格を制定しています。

⁵CDP (Carbon Disclosure Project: 炭素開示プロジェクト) は非営利団体であり、投資家、企業、市町村、州や都道府県、および地域向けにグローバル開示システムを運用し、それぞれが環境に及ぼす影響を管理できるようにしています。

環境 サステナビリティ

環境に及ぼす影響の低減

TI は何十億もの半導体製品を製造し、世界各地にいる 100,000 社以上のお客さまに販売しています。TI は天然資源の節約、排出物の低減、環境に及ぼす影響の緩和を目的として、長期にわたる環境サステナビリティ・プログラムを策定しました。

TI は、持続的で責任のある製造を実施できるように、長期的な取り組みを実施してきました。TI が重視しているのは、エネルギー効率の改善、GHG (温室効果ガス) 排出量の削減、水の再使用の増加です。これらの分野に特化した内容は、以下の各ページで見つかります。

プロGRESS

環境に及ぼす影響を低減する TI のコミットメントの一環として、TI は GHG 排出量、チップあたりのエネルギー原単位レベル、廃棄物および節水量の削減に関する目標を設定しました。

これまでの数年間を通じて、TI は 2015 年を基準年とし、Scope 1 と 2 の GHG (温室効果ガス) の絶対排出量 (総量) を 25% 削減するという長期的な目標に向かって進捗を遂げてきました。また、この目標を 2025 年までに達成するために、これからも取り組みを続けます。

2021 年に、TI の製造量は前年比で約 20% 増加しました。その理由は、パンデミックとそれに伴うサプライチェーンの混乱に関連する進行中の世界的な課題からの高い顧客需要によるものです。TI は主要分野で前年を上回る成長を遂げてきましたが、製造と同じ比率で増加したわけではありませんでした。TI は GHG の排出量とエネルギー原単位レベルに関する 2025 年の目標を達成するためのコミットメントを継続しており、私たちが環境に及ぼす影響を低減するために、レポート内で列挙したさまざまな行動への投資を行っています。

毎年何十億ものチップを製造する半導体メーカーとして、TI は自社の製造プロセスで効率を改善することが非常に重要だと確信しています。チップあたりの改善を測定すると、全体の効率を改善するための TI の努力に関する大がかりなストーリーが見えてきます。7 ページに、GHG 排出量、エネルギー、水、排出物という、環境サステナビリティに関する 4 つの主要分野における TI の行動、目標、進捗状況を掲載しています。また、これまで 11 年にわたって記録してきたチップあたりの効率に関する概要も掲載しています。TI が 300mm 製造能力の拡張と、これらのウェハー製造施設で高度な製造技術の強化を続けている状況で、TI が認識している効率は TI の環境フットプリントに対して好影響を継続的に及ぼしています。



2021 年も、以下のように、TI は持続可能なビジネス慣行が認められました。

- バロンズ紙の「100 Most Sustainable Companies」(最も持続可能性の高い企業 100 社)
- Dow Jones Sustainability Index, North America (ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス、北米)
- ニューズウィーク誌の America's Most Responsible Companies (米国で最も責任感の高い企業)
- ウォール・ストリート・ジャーナルの Top Companies for Social Responsibility (社会的責任に関する上位企業)。

テキサス州リチャードソン

環境維持へのコミットメント

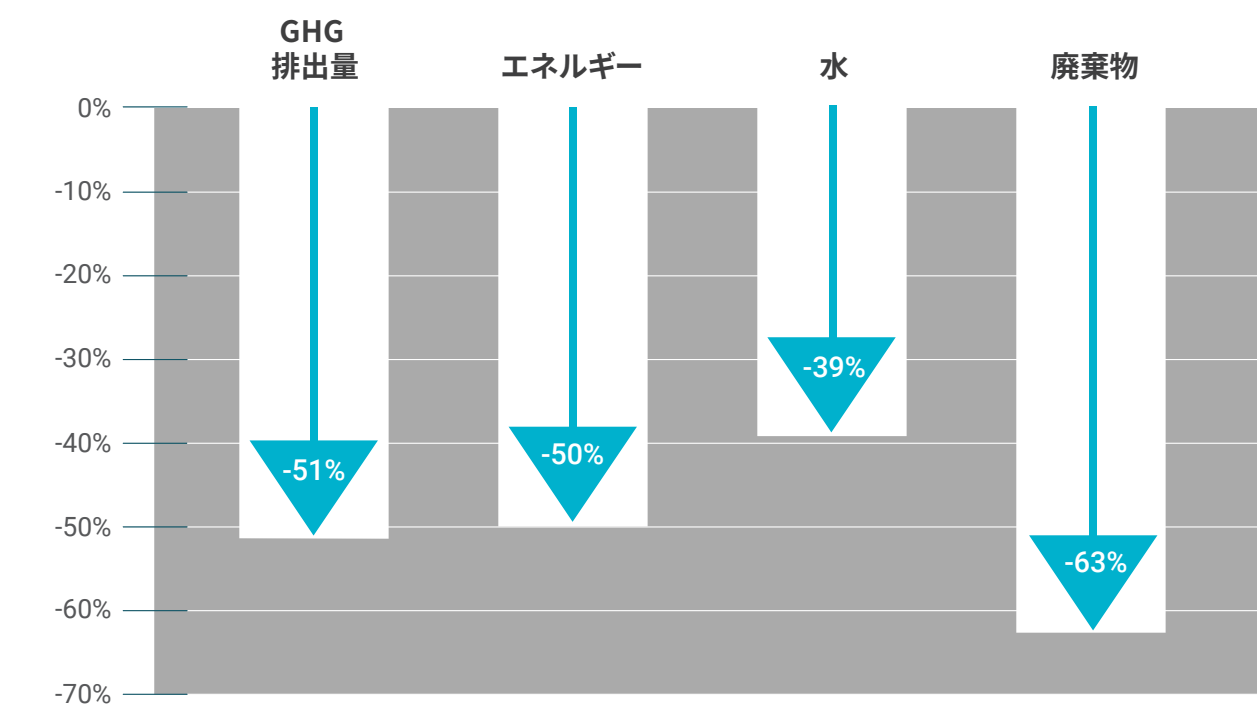
環境への影響を最小化するために、TI は水の使用量、排出物、温室効果ガス排出量を低減する目的で複数の戦略を策定しています。これらを以下で要約するとともに、削減に関する目標を目指す進捗状況も掲載しています。

注目対象	目標	2021 年未までの進捗
温室効果ガス 温室効果ガス(GHG) 排出量	排出物を削減するための TI の行動： <ul style="list-style-type: none"> 代替可能な燃料や化学物質を使用します。 排出物を削減する機器を設置します。 再生可能なエネルギーを購入します。 製品の製造、配送、流通を最適化します。 不必要な出張を減らし、特定の拠点で従業員の通勤費用を補助します。 	2025 年未までの目標： 25% 2015 年の基準年に比べて、適用範囲としている Scope 1 と 2 の絶対排出量 (総量) を 25% 低減。
エネルギー	エネルギー消費量を削減するための TI の行動： <ul style="list-style-type: none"> 効率を最適化する目的で、ビルと製造拠点の設計と運用を実施します。 各種ツールと機器のアップグレードと更新を実施します。 各種センサと他の自動化制御機器を使用します。 日常的なエネルギー節減プロジェクトを実施します。 	2025 年未までの目標： 50% 2015 年の基準年に比較したチップあたりのエネルギー原単位レベルの削減量。
水	節水を実現するための TI の行動： <ul style="list-style-type: none"> TI の逆浸透フィルタの回復率を最適化するなどの行動を通じて、脱イオン水プラントの効率を改善しました。 流量を改善した結果、製造ツールの水使用量が減少しました。 他のプロセスで水を再使用することが可能になる、負荷的な製造ツールを特定しました。 より多くの廃水を復元できるように、マイクロフィルタ (精密ろ過器) とウルトラフィルタ (超精密ろ過器) の使用を拡大しました。 	2021 年の節約： 2.6% 2020 年の合計水使用量に比べて、2021 年の削減量。
廃棄物と原材料の管理	廃棄物と原材料の管理に関して、3 ステップのアプローチを適用しています。 <ul style="list-style-type: none"> TI が何を必要としているかを検討します。 可能なものを再利用します。 許可されているものをリサイクルします。 	2021 年の転用： 90% 埋め立て処分するはずだった固体原材料のうち、転用した比率。

2021 年のチップあたりの効率改善

TI は長年にわたって自社の製造プロセスと機器の効率改善に取り組み、原材料消費量、水、化学薬品、エネルギーの使用量、さらに、関連する空気と温室効果ガス (GHG) の排出量を減らそうとしてきました。2010 年と 2021 年で TI のチップあたりのデータを比較すると、TI は製造に関連する影響と資源消費量を減らしてきました。

2010 年から 2021 年：チップあたり* の効率改善



チップ製造効率がいっそう向上

毎年何十億ものチップを製造するメーカーとして、TI は効率的に事業を進め、継続的に改善にコミットすることが非常に重要です。TI が自社の成功度を測定する 1 つの方法は、エネルギー、水、温室効果ガス排出量、廃棄物というサステナビリティに関する 4 つの重要分野をチップ・ベースで計算することです。また、TI は高度なアナログ向けの 300mm ウェハー製造設備にも投資しています。これらの投資の結果、TI は排出物を減らし、水とエネルギーの効率を高めることができます。

* 正規化データ、言い換えるとチップあたりの効率データは、毎年のチップ製造数を基準として、エネルギー、水、GHG (温室効果ガス)、原材料使用量のベースライン (基準) を策定し、変化を追跡するための方法です。TI は、自社の製造プロセスの全体的な GHG (温室効果ガス) 効率を評価するために、GHG (温室効果ガス) 原単位を測定しています。GHG (温室効果ガス) 排出量とは、排出した GHG (温室効果ガス) 総量を指しており、この値は製造量によって異なります。GHG 排出原単位とは、単位出力あたりの GHG 排出量に注目し TI の GHG 排出量総量を合計生産数で割る、使用量を正規化しようとする試みです。同じ定義を、チップあたりの水の原単位や廃棄物原単位にも適用します。

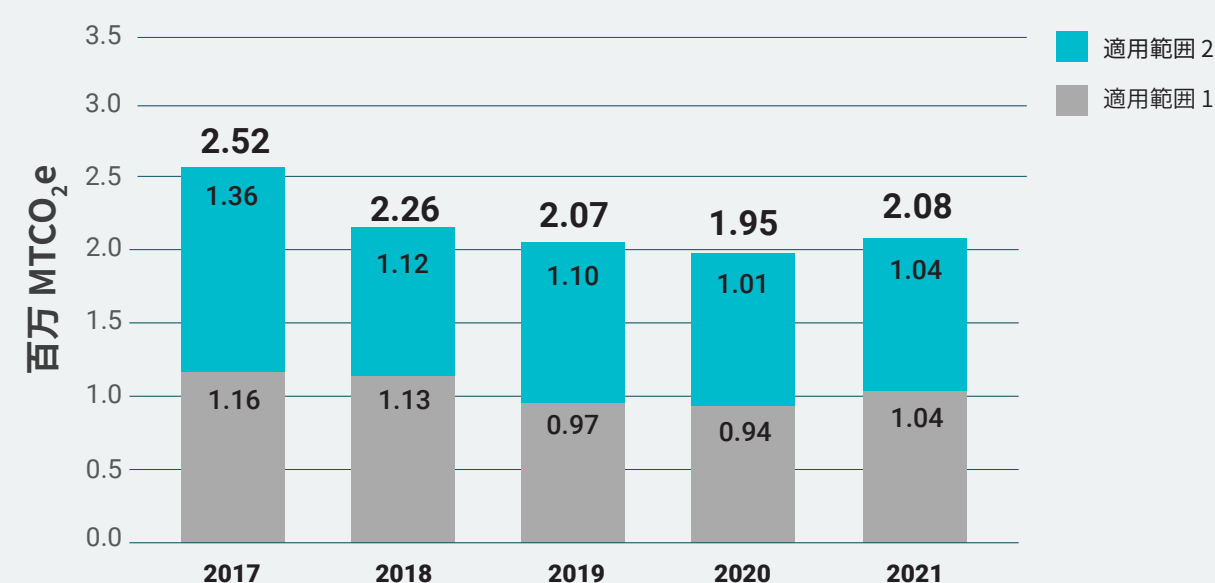
*TI の運用に関する構造的な変化を反映するために、TI の 2015 年における GHG 排出量ベースラインを 2022 年に調整しました。それらの変化に該当するのは、スコットランドでの水製造プラントの引き上げと、米国ユタ州での 300mm ウェハー製造プラントの買収です。次の規定が示すガイドラインに従い、2015 年のベースラインを、2,471,357 から 2,832,709 に調整しました。WBCSD/WRI の The Greenhouse Gas Protocol: A Corporate Accounting and Reporting Standard (温室効果ガスの手順書：企業の計算と報告に関する基準)。

温室効果ガス 排出量

GHG 排出量を減らすための TI のコミットメント

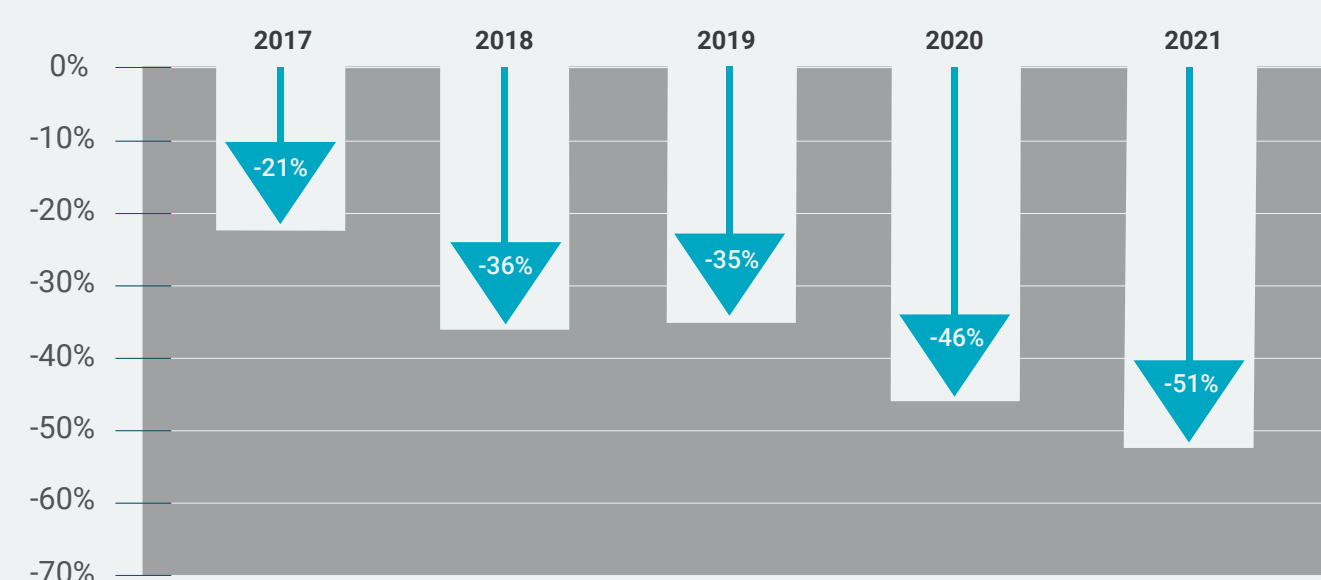
環境に及ぼす影響を低減し、効率を改善するために、TI は温室効果ガス (GHG) 排出量とエネルギーの低減に関する目標を設定しています。面積が 50,000 平方フィート (4,645 平方メートル) 以上の製造拠点や非製造拠点からの排出量も含め、2015 年の基準年と比較して、Scope 1 と 2 の GHG (温室効果ガス) の絶対排出量 (総量) を 2025 年までに低減する目標を TI は策定しました。

GHG 排出物総量⁷
(百万トンの CO₂ 相当量)



TI の製造数は 2017 年から 2021 年の間に 34% 増加しました。

チップあたりの GHG 排出量



Scope 1 の種類別 GHG (温室効果ガス) 排出量

トン単位の二酸化炭素換算量 (MTCO ₂ e)	2017	2018	2019	2020	2021
二酸化炭素 (CO ₂)	76,574	79,622	78,731	75,190	84,904
メタン (CH ₄)	44	46 ⁸	46	44	39
二酸化窒素 (N ₂ O)	20,872	24,438 ⁸	23,440	28,452	31,557
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	42,059	39,982	36,552	37,532	44,633
ペルフルオロカーボン (PFC)	850,379	830,018	669,757	622,526	665,457
六フッ化硫黄 (SF ₆)	64,537	71,240	62,084	64,061	71,189
三フッ化窒素 (NF ₃)	108,869	113,839	94,853	110,701	142,671

Scope 2 種類別温室効果ガス排出量

トン単位の二酸化炭素換算量 (MTCO ₂ e)	2017	2018	2019	2020	2021
二酸化炭素 (CO ₂)	1,357,931	1,122,336	1,102,843	1,012,985	1,041,346
二酸化窒素 (N ₂ O)	2,595	1,679	1,673	1,386	1,294
メタン (CH ₄)	375	271	269	241	233

⁷Apex Companies LLC は、2021 年に TI が排出する Scope 1 と 2 の市場ベースの GHG に関する限定的な保証検証を実施しました。
⁸2018 年のメタンおよび亜酸化窒素の増加は、排出係数の更新と、TI の国際的な複数の拠点からこのデータを収集したことに起因しています。

TI が実施している行動

TI は長年にわたって、自社の事業、配送、流通、および自社のサプライ・チェーン全体で GHG (温室効果ガス) 排出量を削減するための行動を実施してきました。

Scope 1

TI は製造プロセスで使用するガスと、天然ガスやディーゼルなどオンサイトで消費する燃料を通じて、Scope 1 の GHG 排出物を直接排出しています。TI はこれらの排出物を低減するために、以下の方法に取り組んでいます。

- 効率的な製造テクノロジーの導入
- 代替のガスと化学薬品を使用し、必須ではないフッ化ガスを排除。
- 半導体の製造に使用するガスの排気に対処する、使用時点熱排出物低減装置をいくつかのツールに導入。

Scope 2

TI が自らの製造または他の事業を目的として購入した電力や熱によって、適用範囲 2 の GHG (温室効果ガス) 排出物を間接的に排出しています。TI はこれらの排出物を低減するために、以下の方法に取り組んでいます。

- 世界各地で再生可能エネルギー源の購入と確保。
- TI の製造システム、ビル、ツールのエネルギー効率を向上。

Scope 3

TI のサプライ・チェーン、従業員の出張や通勤、および製品の流通ネットワークで生成された、Scope 3 の間接的な温室効果ガス排出物。以下の方法で、これらの環境負荷を削減しています。

- サプライヤに対し、製造と運用の効率を最適化することを奨励。
- 物品を大量一括で、また地域ごとの流通センターから配送する方法で、配送回数を減らし、輸送に関連する排出量を低減。
- 業務上の出張を制限し、テレビ会議機能を採用。COVID-19 のパンデミック中に政府が義務付けた密集の制限を遵守する形で、TI は従業員の出張と通勤に伴う排出を大幅に削減しました。
- オンサイトの電気自動車 (EV) 充電ステーションを設置するほか、シャトル便を導入し、自転車向けのインフラも整備。
- 選択した一部の拠点での公共交通機関の利用や自動車の相乗りに対する補助金支給。

TI は現在、バリュー・チェーンの排出量を推定および計算するプロセスの実行中です。これらの排出量は TI にとって重要であり、企業のバリュー・チェーン (Scope 3) 計算と報告基準 (温室効果ガスの手順書: 企業の計算と報告に関する基準の補足) に沿っています。TI の GHG (温室効果ガス) 排出物低減戦略の詳細については、[TI's 2022 CDP Climate Change response \(TI の 2022 年 CDP を通じた気候変動への対応\)](#) をご覧ください。

潜在的なリスクの監視

TI は、環境問題に関連する潜在的なリスクや好機に直面しています。環境に関連する TI のリスクと好機、ガバナンス、管理の戦略、排出物の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の [TI's 2022 CDP Climate Change response](#) (TI の 2022 年 CDP を通じた気候変動への対応)、ESH Management Approach (環境、安全、健康の管理に関するアプローチ)、Emissions Management Approach (排出物管理アプローチ) の各セクション、および TI の TCFD Index (気候関連財務情報開示作業部会インデックス) をご覧ください。

気候関連のシナリオ分析

2021 年に、TI は Environmental Resources Management (ERM) と契約し、気候関連のシナリオ分析を実行しました。同社は 2022 年上期に、同社の分析結果を提示しました。翌年にかけて、該当分野の専門家で構成された複数の作業部会が、ERM の発見事項を再確認する予定です。

エネルギー

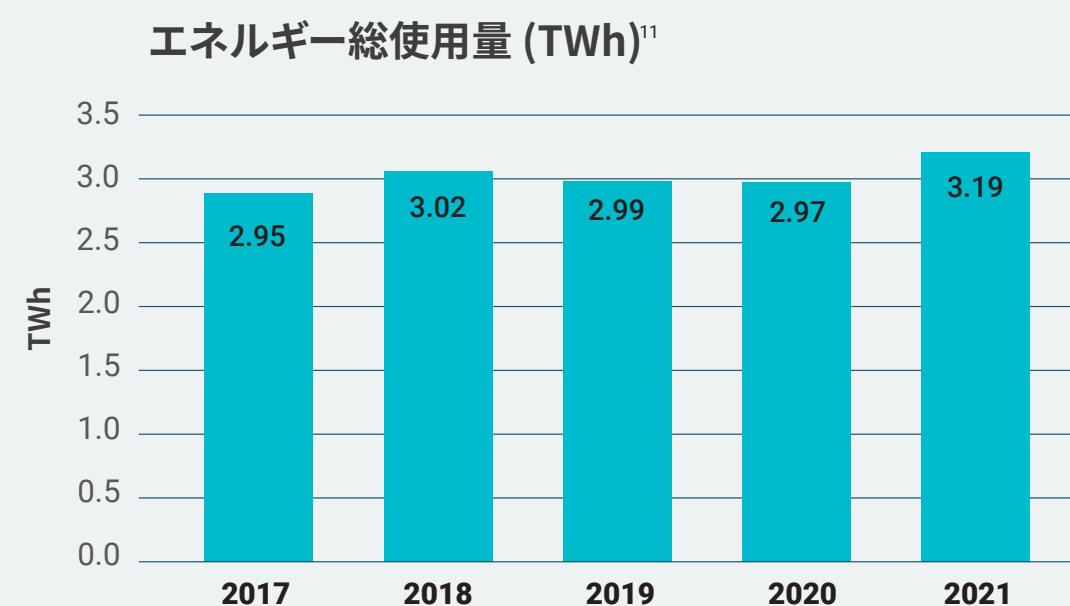
運営、設計、製造、組み立て、テストにかかわる TI のグローバルの拠点は、毎年削減目標を設定し、効率プロジェクトを策定する方法で、エネルギー使用量とそれに関連する温室効果ガス排出量の削減に注目しています。

TI が実施している行動

TI が最も注目しているのは自社の製造事業に係る各種活動です。製造事業は、TI 全体のエネルギー消費の約 90% を占めているからです。エネルギー効率を改善するために、TI は毎年、削減の目標を設定し、9 種類の効率化プロジェクトを実現しています。省エネルギー分野で TI が実施している他の方法を、以下に示します。

- 効率を最適化する目的で、ビルと製造拠点の設計と運用を実施。
- 各種ツールと機器のアップグレードと更新を実施。
- 各種センサと他の自動化制御機器を使用。
- 各種エネルギー節減プロジェクトを実施。
- 冷却水プラントの制御を改善し、設定ポイントを最適化。
- エネルギー効率の優れた LED ライティングを設置。
- より効率的なファンとドライブ・メカニズムを設置する方法で、TI のエア・ハンドリング・システムの効率を改善。

TI がエネルギー使用量を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の ESH Management Approach (環境、安全、健康の管理に関するアプローチ) セクションと Energy (エネルギー) セクションをご覧ください。



TI の製造数は 2017 年から 2021 年の間に 34% 増加しました。

効率の最適化

TI は毎年、TI の事業全体で使用するエネルギー総使用量を低減することを意図した複数のプロジェクトを策定しています。2021 年は TI の実際のエネルギー使用量は 3.19 テラワット時 (TWh) でしたが、仮にこれらのプロジェクトや、それより前の年に策定した同様のプロジェクトが存在しなかった場合、エネルギー使用量は約 20% 増加していたと考えられます。TI は引き続き有意義なプロジェクトを策定し、自社のエネルギー効率改善を確実に進めます。

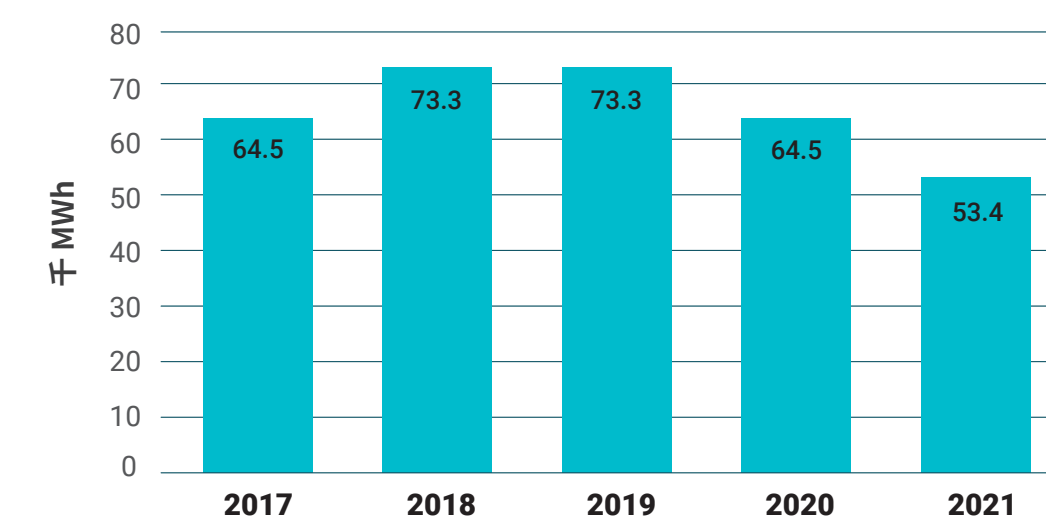
- TI は毎年、温室効果ガス排出量の削減とエネルギー・コストの削減に役立つ 200 種類以上の効率化プロジェクトを実現しています。
- 最近 5 年間で、TI は 300,000 メガワット時 (MWh) のエネルギーを節減してきました。

チップあたりのエネルギーを削減するための TI の取り組み

2015 年を基準年とし、TI は世界各地の製造拠点におけるチップあたりのエネルギー使用量を 2025 年までにその 50% に削減する目標を設定しました。2021 年末の時点で、この目標に対する進捗率は 33% に達しました。

米国内で、TI は米国エネルギー省の「Better Buildings, Better Plants」(優れた建物、優れた工場) プログラムに自発的に参加しています。当初の目標を達成した後、TI は米国の製造拠点におけるパターンあたりの正規化 1 次エネルギー¹⁰⁾ を 2020 年までに 50% 削減するという、水準をさらに高めた目標を設定しました。TI は 2021 年も引き続き進捗を遂げ、エネルギー原単位を 42.3% 削減しました。これは、2020 年の 40.6% を上回る数値です。

エネルギー (MWh) 節減



⁹⁾ TI は、自社の製造プロセスの全体的なエネルギー効率を評価するために、チップ生産数あたりのエネルギー使用量つまり原単位を測定しています。

¹⁰⁾ 1 次エネルギーとは、石炭や他の有機原材料などの天然エネルギー源から取得されたうち、どの変換プロセスや変性プロセスの対象にもならなかったエネルギーの内包量です。TI は米国エネルギー省のこの目標をベースとし、80% の生産能力を想定したほか、自社の施設の設置と閉鎖に関連して計算を調整しました。

¹¹⁾ TI は 2021 年に、テラワット時 (TWh) とメガワット時 (MWh) の各単位を使用したエネルギー使用量の報告を開始しました。それ以前は、MMBtu (millions of British thermal units: 百万英熱量) 単位で報告していました。この変更は、業界と報告それぞれのベスト・プラクティスに整合しています。

種類別のエネルギー使用量 (MWh)

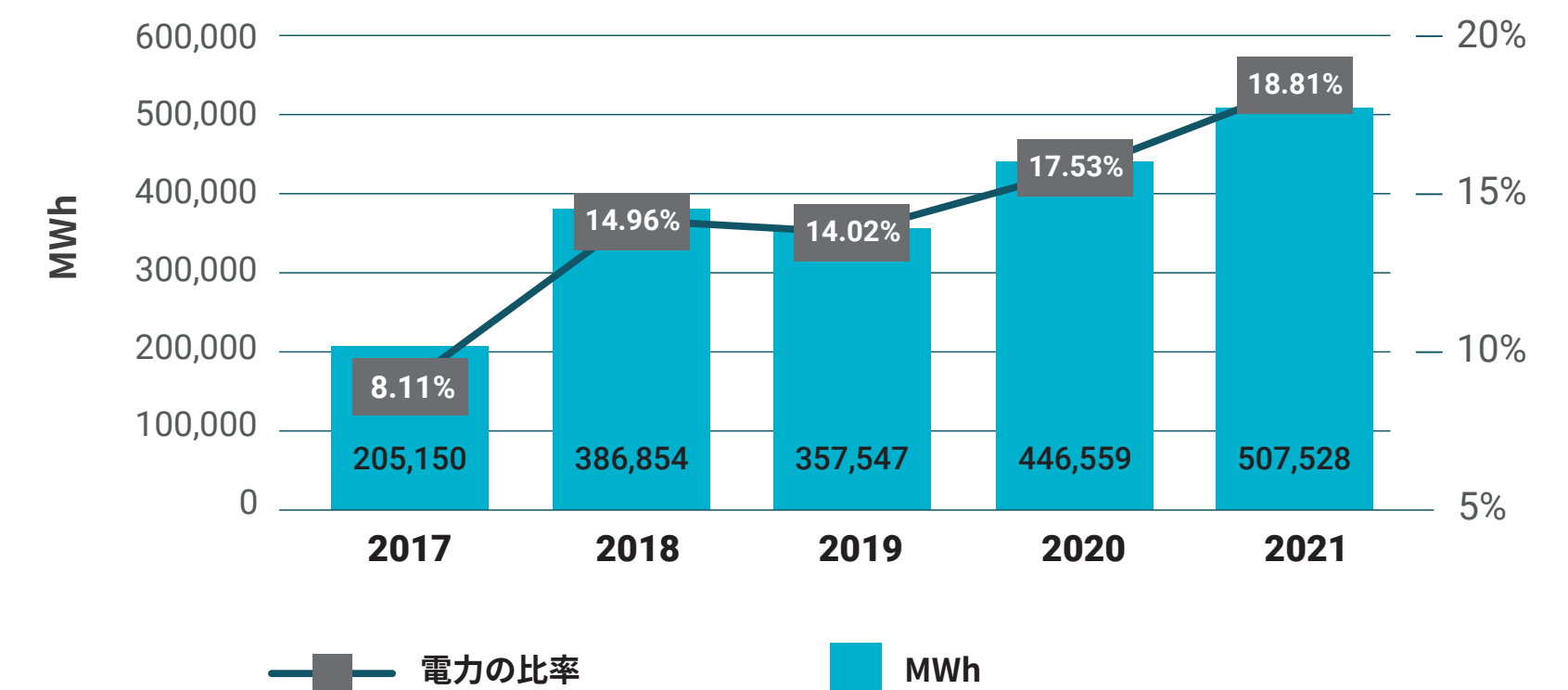
	2017	2018	2019	2020	2021
エネルギー 総使用量	2,951,885	3,022,109	2,989,967	2,974,061	3,185,664
間接的 エネルギー総使用量	2,547,174	2,601,144	2,564,248	2,562,311	2,714,003
電力	2,530,941	2,585,922	2,550,193	2,548,101	2,698,718
地域熱供給	16,232	15,222	14,055	14,210	15,285
直接的エネルギー 総使用量	404,711	420,964	425,719	411,750	471,661
天然ガス	351,973	367,200	372,359	363,413	414,254
燃料油 (No. 6)	5,633	3,750	3,644	4,356	4,132
ディーゼル	11,723	13,087	9,718	7,376	16,905
プロパン	34,601	36,167	39,230	35,791	35,646
ガソリン	782	761	768	814	723

再生可能エネルギー

TI は自社の GHG (温室効果ガス) 排出量削減方針の一環として、今後の再生可能エネルギー使用量の増加に取り組んでいます。TI は、信頼性が高いエネルギー供給源を確保しています。その中には、入手可能でコスト効率が優れ、TI の業務上のニーズや目的に適合している場合の再生可能リソースが含まれています。

テキサス州に新しく建設されるプロジェクトから風力発電と太陽光発電の電力を合計 65MW 調達するという TI の長期契約は 2023 年に事業開始の見込みであり、それ以降の年にわたって、TI が消費する電力のうち再生可能リソースが占める割合全体を高めることに貢献します。

電力総量を基準とした再生可能電力の比率



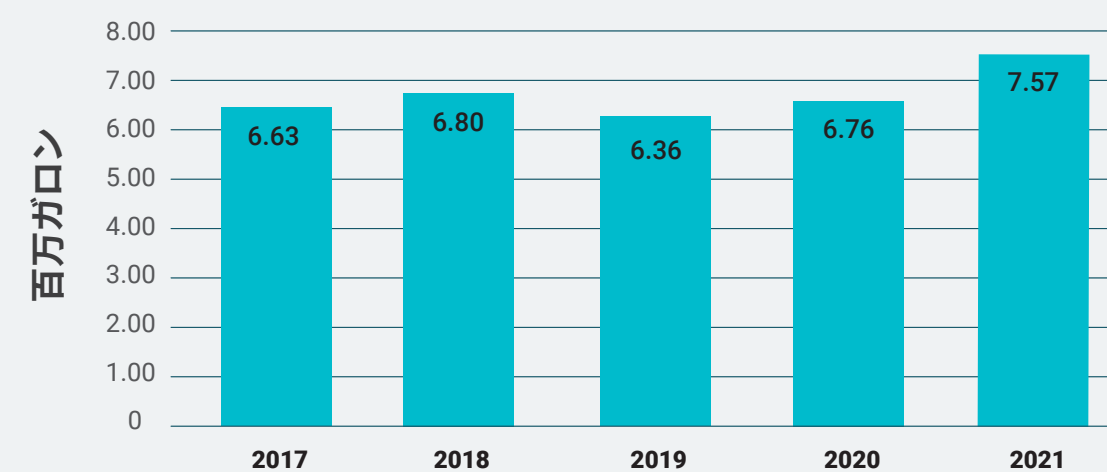
水管理

水は半導体製造の重要な部分です。そのため、TI は責任ある方法で効率的に水を使用することを特に重視しています。再生水と飲料水を節減し、廃水の処理とリサイクルを実施すると、コスト削減、水質の保護、長期的に水を利用できる状態を維持することができます。TI は法規制の限度および許容可能な限度に適合するように、自社の廃水処理システムの維持と最適化を行います。

水節減の目標

2021 年に、TI は複数の水節減プロジェクトを策定しました。その結果、自社の 2020 年使用量を基準として年間の水使用量を 2.8% 低減し、2.6% という自社の目標を上回りました。

水の総使用量



TI の製造数は 2017 年から 2021 年の間に 34% 増加しました。

TI が実施している行動

TI は毎年、TI の事業全体で使用する水の総使用量を削減することを意図した複数のプロジェクトを策定しています。2021 年は TI の実際の水使用量は 75.7 億ガロン (2,860 万キロリットル) でしたが、仮にこれらのプロジェクトや、それより前の年に策定した同様のプロジェクトが存在しなかった場合、水使用量は約 20% 増加していたと考えられます。TI は引き続き有意義なプロジェクトを策定し、自社の水効率改善を確実に進めます。

水節減

TI は水の使用量を低減するために、以下の項目を実行しています。

- 削減、リサイクル、再利用プロジェクトへの投資。
- TI の逆浸透フィルタの回復率を最適化するなどの行動を通じて、脱イオン水プラントの効率を改善。
- 流量を改善し、他のどのプロセスで水を再使用できるかを特定した結果、製造ツールの水使用量が減少。
- より多くの廃水を還元できるように、マイクロフィルタ (精密ろ過器) とウルトラフィルタ (超精密ろ過器) の使用を追加。
- 冷却塔に送り込む、凝縮と精密ろ過を実施した水の量の最大化。
- (TI の超純水システムの副産物として生成された) 塩分やミネラルの含有量が多い水をトイレの洗浄に再利用。
- TI の冷却塔で水を再利用。
- 製造に使用した水を浄化し、より高品質な水をリサイクルして、TI の超純水プラントの入力に戻す。

廃水の管理

TI は、社内の規格、プログラム、手続きも制定済みであり、すべての拠点で発生した雨水と廃水が、地元、州、国家の放水要件を確実に満たせるようにしています。半導体業界の標準である各種パラメータを各拠点で評価します。通常、これらに該当するのは、生物化学的酸素要求量 (BOD)、総懸濁固体量、金属量、pH (ペーハー)、温度です。また、以下の項目も実行します。

- 金属、有害な有機化合物、硝酸塩、硫化物のような物質を制限するか、放水を行う前に廃水から除去します。
- 溶剤、濃縮された金属、または酸性溶液を含有している廃水のスラッジ (泥滓、ヘドロ) を収集し、法規制要件に従ってそれらを拠点外で処分します。一部の状況で、TI はそれらの化合物を廃物再生利用施設に転送し、他の業界で再利用できるようにしています。
- 必須である廃水のサンプル採取を定期的に行い、事業運営を確実に自社の許容限度内に収めます。
- マレーシア、フィリピン、日本の各拠点で、追加の予防措置も講じます。処理後の廃水の放出は、それらの国や地域では都市の処理施設に向かう代わりに、水域に直接向かうことが原因です。

水質の監視

TI のすべての製造拠点で、水の取水量と水質を定期的に監視しています。水質を確認するために、定期的な試験を実行し、社内基準を確実に維持します。TI のすべての製造拠点で、標準的な放出パラメータを使用して水の排出量と水質を追跡しています。

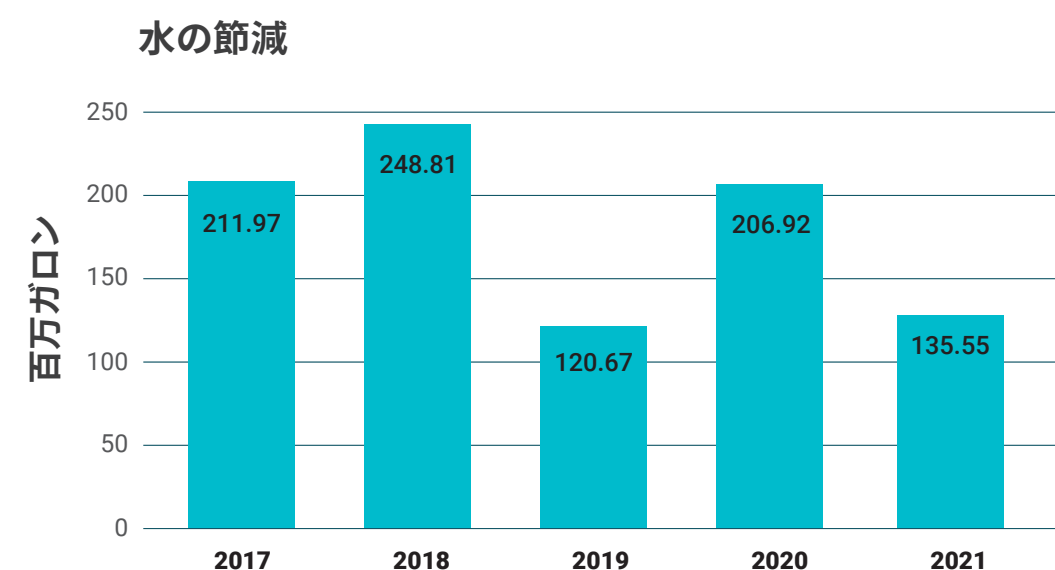
TI の水と放出の管理戦略の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の TI's 2022 [CDP Water Security response](#) (TI の 2022 年 CDP を通じた水の安全性への対応)、ESH Management Approach (環境、安全、健康の管理に関するアプローチ)、Water and Wastewater Management Approach (水と廃水の管理アプローチ) の各セクションをご覧ください。

性能

TI が 2021 年に複数の新しい節減プロジェクトを遂行した結果、水節減に関する自社の目標を上回ることができました。市場の成長に対応するために製造数を増やしたことで、2020 年に比べて全体の水使用量は 12% 増加しました。また、2021 年に消費したすべての水のうち、29%、つまり 22 億ガロン (832.8 万キロリットル) の水を再利用しました。

水節減

最近 5 年間のうちに、TI は 9 億 3,290 万ガロン (353.1 万キロリットル) 近くを節約できました。これはオリンピックで使用する規模の水泳プール 1,400 杯分に近い量です。



種類別の水消費¹²

(10 億ガロン:379 万
キロリットル単位)

	2017	2018	2019	2020	2021
合計	6.66	6.81	6.36	6.76	7.40
自治体	4.21	4.36	4.29	4.53	4.79
井戸	0.40	0.40	0.37	0.37	0.48
再利用	2.03	2.02	1.69	1.86	2.12

合計値と種類別それぞれの廃水の放出量

(10 億ガロン:379 万
キロリットル単位)

	2017	2018	2019	2020	2021
合計	8.15	8.26	7.72	8.26	8.95
廃水	4.08	4.13	3.860	4.13	4.51
自治体の下水	3.85	3.85	3.610	3.87	4.15
Surface	0.22	0.28	0.250	0.26	0.27

¹²水使用量を計算するために、自治体の供給事業者からの請求データと TI の製造指標を使用しています。また、流出レートと体積を測定し、次の機関が制定した標準的な手法を使用して、産業用廃水と雨水のサンプルを分析しています。米国環境米環境保護庁 (EPA)2017 年と 2018 年それぞれの雨水収集推定値は、2,300 万ガロン (87,060 キロリットル) と 3,500 万ガロン (132,490 キロリットル) でした。

廃棄物と原材料の管理

環境を保護し、埋め立てに回す廃棄物の量を低減するために、TI は、原材料と化学物質の使用と廃棄を責任ある方法で管理しています。

TI が実施している行動

リサイクルや再利用ができない廃棄物や原材料は、連邦政府、州政府、および地元の該当する法令に従って適切に廃棄しているほか、以下の行動に最大の努力を払っています。

手順 1: TI が何を必要としているかを検討します。

TI が必要とする原材料の大半は、半導体の製造に必要なものです。原材料と化学物質を購入する場合、TI は結果として発生する廃棄物について考慮するほか、既存の原材料を再利用するか、リサイクル済み原材料や環境との親和性が高い品目を購入または使用するかを考慮します。

手順 2: 可能なものを再利用します。

TI は以下の方法で原材料と化学物質を再利用します。

- 固体、液体、廃水、その他の原材料から金属を回収します。
- 使用済みと余剰の化学物質、化学物質容器、古くなった製造機器を他の目的に振り向けるか、再販売します。
- ウェハー・キャリアやフード・サービスの食器を再利用します。

手順 3: 許可されているものをリサイクルします。

TI のリサイクル可能な原材料と化学物質は、主に自社のオフィスと製造拠点に由来します。各地域の要件に従って、これらの管理と統制を実施します。

化学物質とガスや気体の管理

半導体の製造には、有害または有害ではない化学物質とガスの使用が関係します。この理由で、TI の製品管理システムは厳格な統制を実現しています。TI は継続的に以下を実施しています。

- TI 従業員、拠点のあるコミュニティ、および消費者を保護するために、最も安全で最もリスクが低い原材料を特定し、使用します。可能な場合、TI は特定の洗浄用途で化学物質の代わりに高圧水を使用するか、化学物質を、環境との親和性が高い物質で置き換えます。
- 受け入れたすべての原材料や化学物質を、半導体製造プロセスに投入する前に受入検査を実施し、規制と顧客の要件の両方に準拠できるようにします。TI はまた、サプライヤとの契約の中で化学物質に関連する制約と規格を規定しています。
- 新しい科学情報が利用可能になり、新しい規制が有効になった時点で、各原材料が ESH に及ぼす潜在的な影響を評価します。
- 化学物質の購入、輸送、追跡、廃棄を安全かつ責任ある方法で実施するために、厳格な規格と条項に従います。
- 個人用保護機器の適切な使用を含め、化学物資または有害物質の使用、ラベル表記、保管、廃棄に関する具体的な手順とトレーニングを提供します。
- 通気制御機能、排出物低減システム、漏洩検出器、適切な処理技術を使用しています。

TI が受入検査を実施している段階で原材料または化学物質に関する懸念が発生した場合、会社の各種関連部門に所属しているエキスパートをスタッフとするレビュー委員会に、その懸念事項をエスカレートさせます。まれに、ある原材料または化学物質が製造に必要なにもかかわらず、依然として懸念事項が発生する場合、TI の製造責任者はその状況を見直し、必要に応じて、より安全な代替品を探るか、または使用に関するより厳格な管理を実施します。

性能

TI は 2021 年に発生した合計 45,667 トンの廃棄物と余剰原材料のうち 90.1% を再利用またはリサイクルしました。この数値を達成するために、実行可能な場合は化学薬品の再利用と回収を行いました。余剰化学薬品の売却、エネルギー回収の目的で特定の廃棄物のリサイクル、および廃棄物になった木材、紙、ガラス、金属、有機原材料のリサイクルを実施しました。

懸念物質の段階的な廃止

電子業界が直面している 1 つの課題は、事業にとって重要ではあっても有害な可能性のある化合物を低減または排除することです。これらには、

- 臭素系または塩素系の難燃剤 (BFR/CFR) の各化合物は TI の製品の販売時点では何のリスクもありますが、不適切または安全ではない方法で廃棄することは懸念事項になります。過去 20 年にわたって、TI は自社製品の 99% からこれらの化学物質を積極的に除去してきました。
- ペルフルオロ化合物 (PFOS) と ペルフルオロオクタン酸 (PFOA) – これらは油や水をはじく撥油剤および撥水剤ですが、健康に影響を及ぼす可能性があります。TI は 2015 年に PFOS の使用を停止しました。また、2021 年は PFOA と PFOA 関連化合物を製造プロセスから除外しているところです。

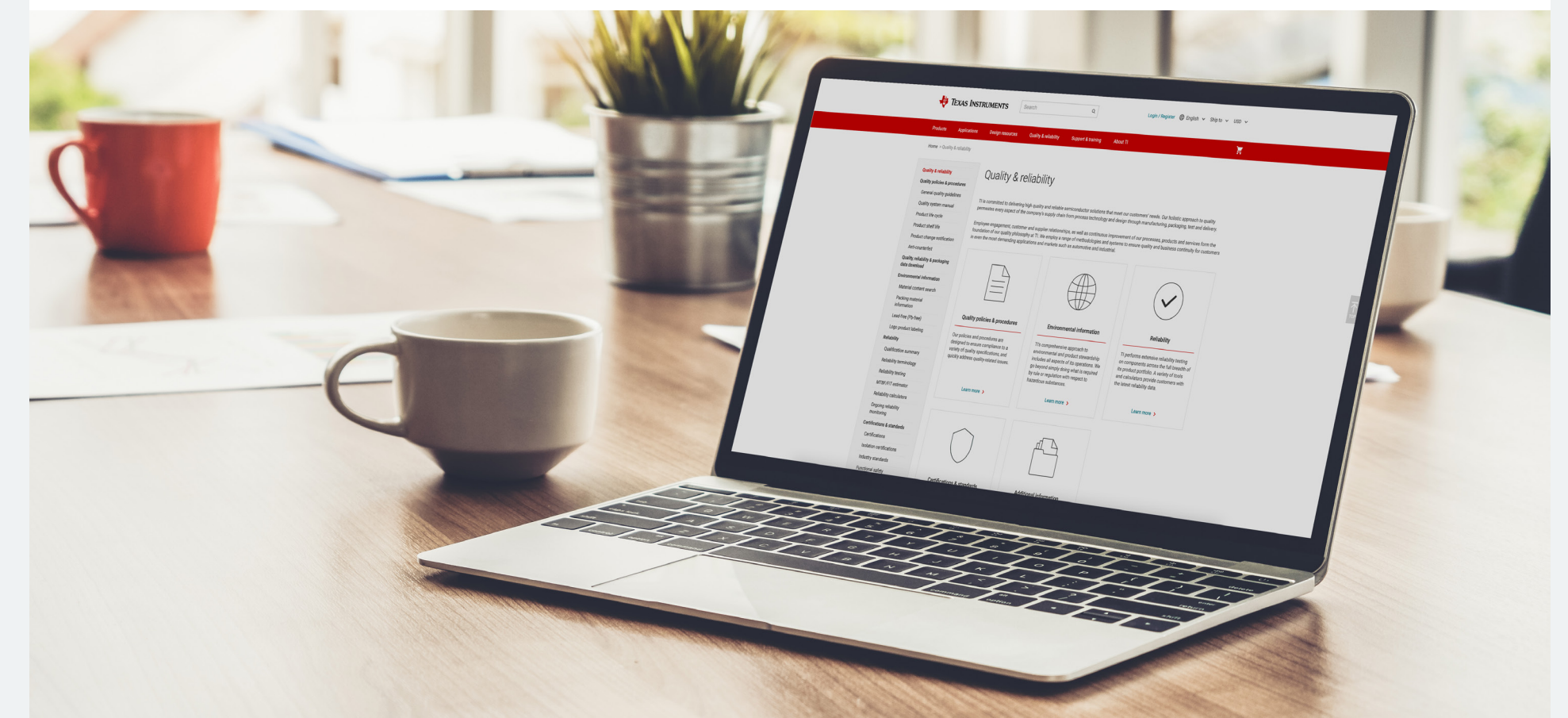
TI、他のチップメーカー、一部のサプライヤは新しい業界団体に加入し、ペルフルオロアルキル系物質を使用する幅広い半導体に関する法的規制の情報を伝達できるように、受け入れ可能な選択肢を考案しています。

TI が原材料を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の ESH Management Approach (環境、安全、健康の管理に関するアプローチ) セクションと Materials (原材料) セクションをご覧ください。

製品の使用物質の透明性

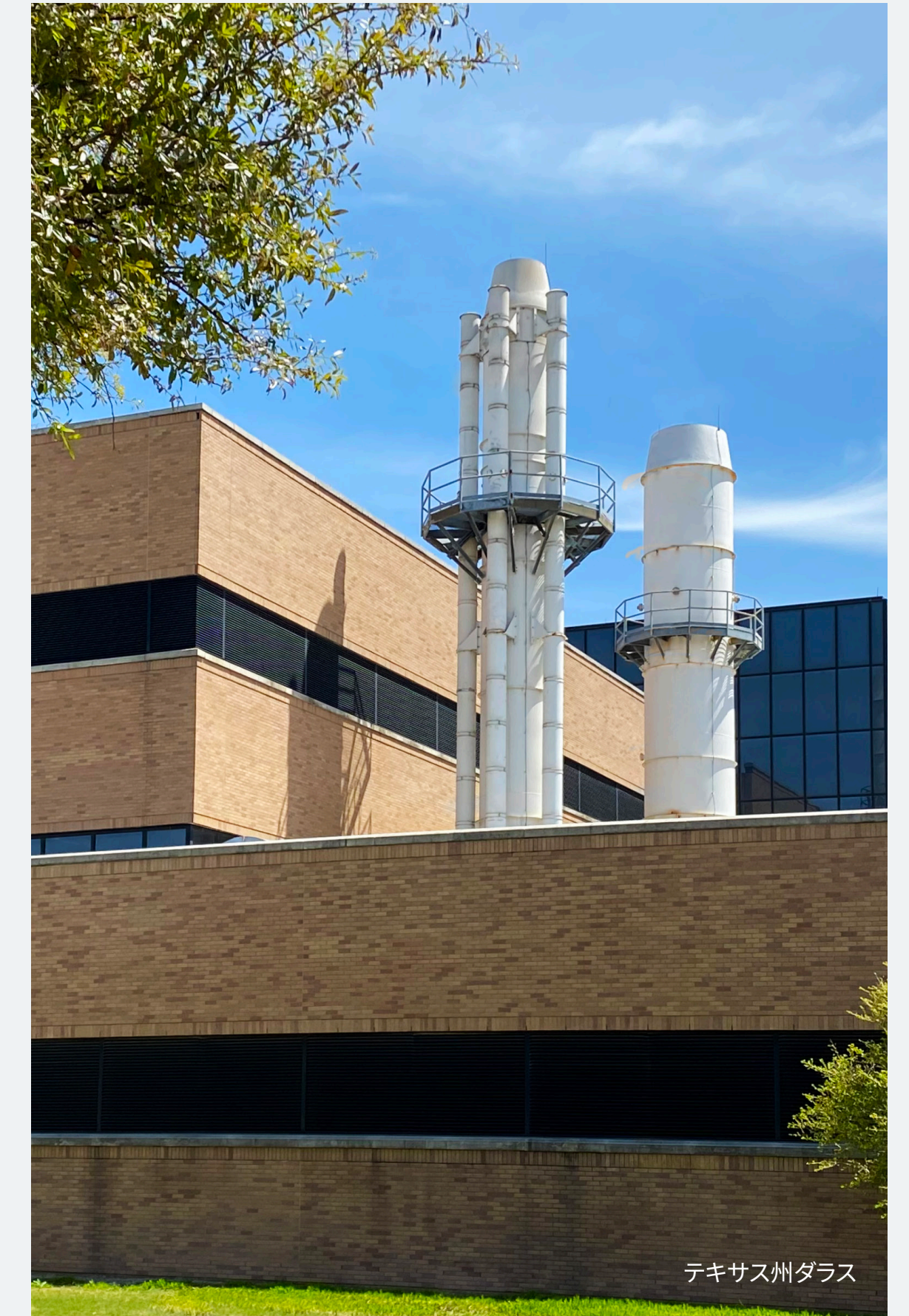
TI の各種パーツが原材料に関するグローバルな制約と法規制に適合していることを確実にするために、TI は測定を実施し、その概要を示す資料とツールを顧客に提供しています。これらには、

- [規制対象である化学物質と原材料の仕様。](#)
- [TI の制限化学物質と原材料の一覧。](#)
- [環境と製品への責任に関する TI のアプローチ。](#)
- [検索ツール](#)を使用して、RoHS、REACH、グリーン対応に関する製品のステータスや、含有物質の詳細を迅速に検索すること、または制限化学物質テスト・レポートをダウンロードすることができます。
- [品質、信頼性、パッケージに関するデータ。](#)
- [鉛 \(Pb\) フリーへの転換。](#)
- [Low Halogen \(Green\) Statement \(低ハロゲン \(グリーン対応\) に関する声明\)。](#)
- [環境に関する FAQ。](#)



組成ごとの廃棄物 (トン単位)

有害廃棄物	2017	2018	2019	2020	2021 ¹³
廃棄物の生成量	24,421	25,305	26,734	31,702	14,142
廃棄処分から転用した廃棄物	21,828	22,305	23,869	28,396	11,250
廃棄処分に回した廃棄物	2,593	3,000	2,865	3,307	2,892
有害ではない廃棄物	2017	2018	2019	2020	2021
廃棄物の生成量	12,295	11,882	10,345	10,518	29,675
廃棄処分から転用した廃棄物	11,203	11,028	9,534	9,563	28,025
廃棄処分に回した廃棄物	1,092	854	811	955	1,650
廃棄物の他のカテゴリ	2017	2018	2019	2020	2021
廃棄物の生成量	-	-	-	-	1,860
廃棄処分から転用した廃棄物	-	-	-	-	1,860
廃棄処分に回した廃棄物	-	-	-	-	0



¹³2021年に、TIは次の基準に基づいて新しいデータを開示しました。更新版のGRI 306: Waste 2020 (GRI 306: 廃棄物 2020) 規格。その結果、有害廃棄物を有害ではない産業用廃棄物とは個別に報告できるようになりました。この手法により、有害廃棄物の報告量は大幅に減少しました。

大気汚染物質

TI の各製造プロセスは特定の気体汚染物質を生成します。それらは大気中に放出することになります。TI の気体汚染物質制御システムを導入した結果、許容可能な限度および法規制の限度に従い、大気品質と人々の健康を保護することができます。

TI が実施している行動

TI は拠点固有の化学物質削減目標を設定し、施設から大気中に放出する前に気体汚染物質を軽減または処理するために、熱酸化装置、触媒、洗浄装置を使用しています。

米国の気体排出物¹⁴

(トン単位)	2017	2018	2019	2020	2021
窒素酸化物 (NOx)	94.52	81.04	79.72	82.37	75.87
揮発性有機化合物 (VOC)	96.64	105.12	92.77	97.12	109.45



米国ユタ州リーハイ

¹⁴ TI は、自社の気体排出物の計算に亜酸化窒素 (N₂O) を含めていません。TI は N₂O を GHG 排出データに含めているからです。

製品の品質

TI は、顧客のニーズに適した高品質で高信頼性の半導体ソリューションを提供できるように、製品とプロセス技術を継続的に向上させています。品質に関する TI の総合的なアプローチは、会社のサプライ・チェーンのあらゆる段階に浸透しており、プロセス技術や設計から、製造、パッケージング、試験、納入までを網羅しています。環境に及ぼす影響を低減し、製品の耐用期間を延長するために、TI は自社技術の品質と信頼性を最適化しています。

品質と信頼性

TI のすべての部門は協力し、品質の確保と、高信頼性製品の納入を進めています。産業用 (半導体技術協会: JEDEC) と車載 (車載電子部品評議会: AEC の Q100) の各製品を想定した厳格な認証規格に適合する高信頼性の技術を構築できるように、TI は自社の製品とプロセス技術の改良を継続しています。TI は特化型の原材料と制御手法を使用し、高品質の製品や、テスト用のシリコン技術とパッケージ技術を製作するほか、ウェハー・レベルの信頼性を継続的に監視しています。

製品の認証を開始した時点で、製品が完全に信頼性があり、お客様の長期的な品質ニーズに対応するという、データに裏付けられた高い信頼を得ることを目標としています。

製品の耐用期間

[製品耐用期間](#)と、お客様への供給の継続性を維持するために、TI はライフ・サイクル管理ポリシー、および在庫と製造に関する戦略を策定しています。その結果、TI は 10 年またはそれより長い期間にわたって製品の販売とサポートを実施することができます。

TI の製品ライフサイクルは通常 10 年から 15 年で、多くのお客様のご要望に合わせて延長することもあります。TI は、お客様の観点で製品の耐用期間を考慮して対策に取り組んでおり、このコミットメントを維持するための戦略と社内方針を策定しています。

品質とサポートへの TI の取り組み

TI はお客様からの返品結果を測定しています。この数値に基づいて、解決のサイクル期間と 10 億個あたりの返品パーツ数という両方の実績を評価しています。これらの測定値は、高い水準の顧客サービスや、製品の品質と信頼性を維持するのに役立ちます。継続的な改良を推進するために、TI は個別の返却に関する理由の評価、分類、集約を実施し、全体的な改良の機会を見きわめています。過去 3 年の間に、TI 製品のうち 85% 以上は、どの顧客からも返品されたことはありませんでした。

品質と信頼性は TI のあらゆる部門に浸透

TI には以下の体制があります。

- [Quality System Manual](#) (品質管理マニュアル) は、TI の品質管理プロセスと管理システムについて記述しています。
- [品質ポリシーと手順](#)は、品質に関連する課題を迅速に特定し、解決するための枠組みを実現します。TI は業界の要件と規格を採用しているほか、お客様の仕様とフィードバックも考慮に入れています。その結果、製品のライフサイクル全体でリスクを低減し、改善を推進することができます。
- 多数の業界規格と品質仕様に適合できるように、TI は複数の社内品質規格を策定しています。それらの業界規格などに該当するのは、ISO (国際標準化機構) 9001、ISO 14001、ISO 45001、International Standard for Automotive Quality Management Systems (自動車産業向け品質管理システムの国際規格) 16949 と、UL (Underwriters Laboratories) 定格です。
- [信頼性試験](#)は潜在的な故障メカニズムの促進または加速を実現し、根本原因の特定や故障モードを防止する方法の解明に役立ちます。

TI は継続的な改良を行うために、製品とサービスの品質に関するいくつかの性能指標を測定しています。

製品の流通

梱包と出荷

TI は自社製品を効率的に梱包および配送し、適切な時間枠で顧客宛に流通させるとともに、出荷に関する国際的な規制と排出物関連の基準に準拠しています。次に例を示します。

- 複数回の配送を防止する目的で、多数の製品も各出荷に収められるように梱包しています。また実際の重量が、課金の対象になる寸法重量 (容積重量) に近くなるように、梱包密度を高めています。
- 梱包の際に、リサイクル可能かつ再利用可能でリサイクル済み物質を採用したエア緩衝材を使用しています。
- お客さまと協力し、配送に関する顧客のニーズを理解し、可能な場合は一括で配送を実施しています。この慣行の採用により、航空便を使用する場合でも、より手ごろな出荷オプションが使用できる時期を想定して、優先順位の低い航空便を使用する方針に相互で合意することができます。
- サプライヤーは、すべての新しい 300mm ウェハーは再利用可能なコンテナを使用して出荷する必要があります。コンテナが空になった後、再利用できるようにそれらのコンテナをサプライヤーに返却するか、TI 社内で使用しています。2021 年単年で、TI はそのようなコンテナを 21,628 個再利用しました。
- 配送時に製品を保護する梱包材 (発泡エア・パッキンやフォーム緩衝材など) や、配送資材 (箱、木枠、パレットなど)、貴金属を回収できる品目をサプライヤー宛に配送するためのケース、および製品の流通に使用するプラスチック製リールを再利用しています。
- 欧州連合 (EU) の Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE、廃電気電子製品) と EU の Packaging and Packaging Waste (包装廃棄物) リサイクル・プログラムに準拠し、EU 管轄地域に輸入する評価基板に適用しています。
- 自社の流通センターをお客様に近い地域に配置することで、納期の短縮、効率化、また災害時の製品配送の円滑化を実現します。
- 重くて高額な、カスタム・カットの発泡材やリサイクル不可能な発泡材の使用、または発泡材とボール紙の廃棄物発生を排除しています。

Shenzhen Product Distribution Center, China
(中国の深圳製品流通センター)



責任ある事業慣行

エシックス、コンプライアンス、行動規範

TI の創設者たちには、優れた企業を築き上げるには、長期的な成長に貢献する特別な文化が必要であるという知識や先見性がありました。TI は、社内文化を [Living Our Values – TI’s ambitions, values and code of conduct](#) (TI の価値基準に基づく行動 – TI の目標、価値基準、および行動規範) と呼んでおり、この基準に従って毎日事業を進めています。すべての TI 従業員はこれらの原則を支持する上で重要な役割を果たし、リーダーの関与や従業員の参加とトレーニングを通じて会社の強化を進めることができます。

適切な意思決定、適切な方法での業務遂行、長期を見据えた企業の強靭化を実現できるように、TI は 従業員、マネージャ、リーダーが必要とするトレーニングとツールを提供しています。

従業員は毎年、エシックスとコンプライアンスのトレーニングを受けます。トピックは年ごとに異なる可能性がありますが、複数年周期で、TI の行動規範、環境、安全と健康 (ESH)、秘密情報の保護、情報技術とセキュリティ、職場での嫌がらせやセクシャル・ハラスメントの防止、その他のコンプライアンス関連トピックを取り扱います。

加えて、特定の役割にある従業員は、ターゲット設定型トピックに関するトレーニングを受けます。これに該当するのは、人権に関するポリシー、輸出管理、腐敗防止、インサイダー取引、グローバルな競争法、RBA Code of Conduct (責任ある事業同盟の行動規範) です。また、「TI の価値基準に基づく行動」の意味を理解し、倫理的な行動に関する会社の各種規格を支持することができるように、上級マネージャの関与を求め、適切なツールを提供しています。この結果、各マネージャは自らが管轄する部門で、社内文化、倫理、コンプライアンスに関する期待という考え方を強化できます。

TI の GRI Index (GRI インデックス) は、TI のエシックス、腐敗防止、反競争的行為、および差別排除の各慣行に関する詳細情報を掲載しています。



TI の行動規範

TI 従業員 1 人 1 人は、行動規範について理解することも期待されています。この行動規範は、TI の目標や価値基準を、私たちが支持する必要のある基準へと作り替え、私たちが許容することのない言動を明確に提示することになります。

問題点の報告

目標、価値基準、行動規範、方針のいずれかに相いれない行動を目にしたとき、そのことを表明するのは TI 従業員の責任です。表明するために、マネージャまたは人事担当者に話すか、TI エシックス部門に直接または匿名で連絡を取ることができます。

直接の連絡先:

- ethics@ti.com 宛に E メールを送信します。
- 私書箱宛の郵送 Box 830801, Richardson, TX 75083-0801

匿名ヘルプライン:

- オンライン・アクセス先: texasinstruments.alertline.com。
- 米国内の無料通話: 888-590-5465.

Governance

TI は、長期的な成功を達成するには優れたコーポレート・ガバナンスが重要であると確信しています。1973 年以来、TI は文書化したガバナンス・ガイドラインを使用しており、会社と株主のニーズに合わせて長年にわたって改正を実施してきました。TI の目標と価値基準は、よりTI を強力に築き上げるために不可欠であり、私たちは会社が明文化している原則に従って行動することで、責任ある倫理的な業務慣行を体現します。

TI の取締役会は、責任能力と効果的なコーポレート・ガバナンスを具体化するための活動に集中しているほか、会社のグローバル事業戦略を監督しています。取締役は豊富な経験を持ち、多様な背景と考え方を共有しています。取締役会は、ガバナンスの慣行が現在の事業環境にとって有意義であるか確認するために、ガバナンスの慣行について毎年話し合います。TI の取締役会の多数派は、独立取締役です。取締役会のこのような組み合わせを活用し、取締役会は会社の現在および今後の方針と業績を監督し、次世代の TI リーダーに関する計画を立てるとともに、TI の利害関係者にとって最善の利益が何であるかを考慮に入れます。

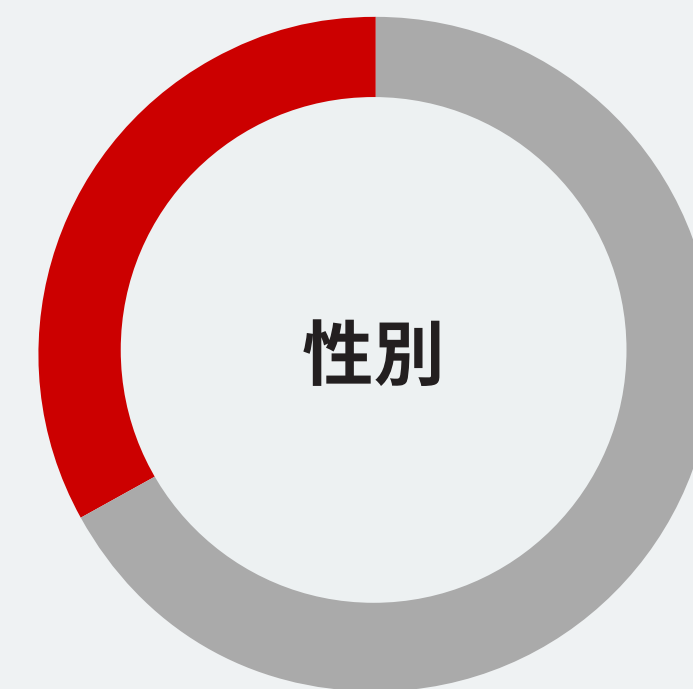
TI のコーポレート・ガバナンスの詳細:

- [TI の取締役会と各種委員会](#)
- [Board Oversight of Environmental, Social and Governance Matters \(環境、社会、ガバナンス \(ESG\) 関連事項に関する取締役会の監督\)](#)
- [ガバナンス資料](#)
- [2022 proxy statement \(2022 年の株主総会招集通知\)](#)
- [2021 U.S. Securities and Exchange Commission \(SEC\) form 10-K \(2021 年の米国証券取引委員会 \(SEC\) の Form 10-K 年次報告書\)](#)
- [2021 Annual Report \(2021 年の年次報告書\)](#)

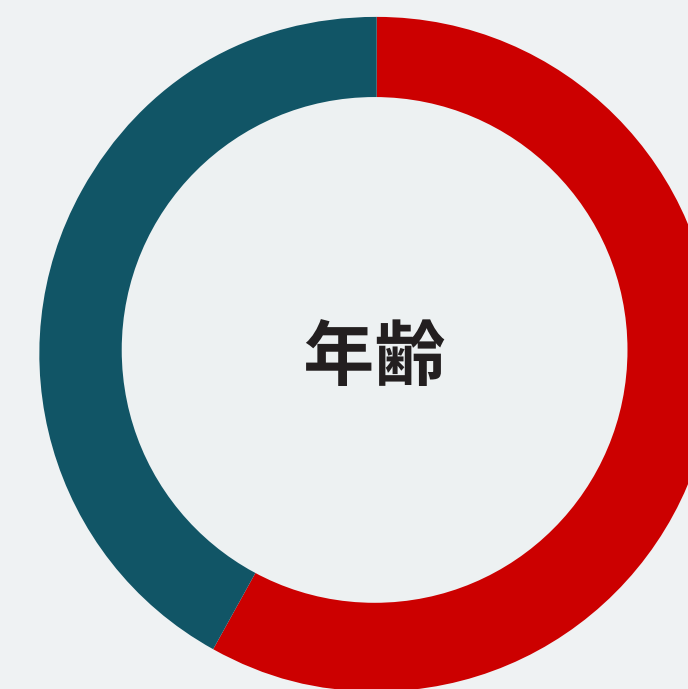
TI の取締役会の概要

2021 年末の時点で、TI は 1 階層の取締役会を採用していました。取締役会のメンバーは 12 人で、そのうち 10 人は独立取締役でした。職務の定年は 70 歳です。

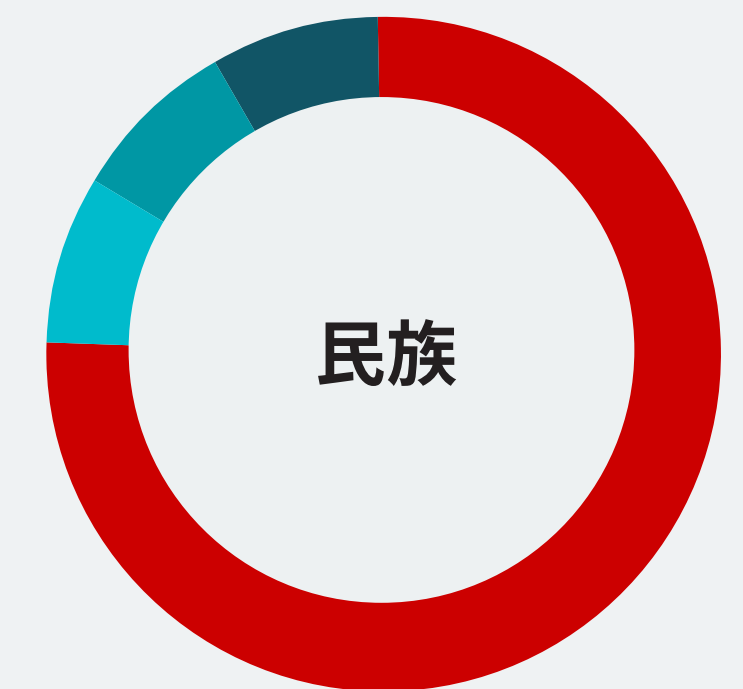
2021 年の取締役会の多様性



女性 - 33%
男性 - 67%



30 歳～ 60 歳 - 58%
61 歳以上 - 42%



黒人 - ~8%
ヒスパニック - ~8%
アジア人 - ~8%
白人 - 75%

責任あるサプライ・チェーン

TI は種類や規模がさまざまに異なる約 11,000 社のサプライヤから、製造プロセス、工場設備、メンテナンス、流通サービスおよび非生産のサービスのための各種原材料や資材を購入します。世界各地にある TI の調達部門は、さまざまな物品とサービスのグローバルな購買を調整します。この業務に該当するのは、調達戦略の設定、資格あるサプライヤの特定と詳細検査、納期と価格設定の交渉、最善の履行方法の判断です。また経済的平等を推進するために、TI は米国で、マイノリティおよび女性が経営する企業 (MWBE) との取引を行う機会を積極的に追い求めています。

責任ある調達

TI は持続性と責任のある業務慣行を自社のサプライ・チェーン全体で推進するために投資をしており、サプライヤの業務、労働者、環境に関連する慣行のリスクを低減しています。次に例を示します。

- 調達の決定を下す前に、サプライヤの人権に関する慣行や、環境と安全性の記録を収集し、注意深く考慮します。TI の価値観、[行動規範](#)、他のガバナンス文書に違反するサプライヤとは意図的に関わりを持たないようにしています。
- ポリシー、契約書、注文書の中で、自社の業績要件と期待を指定します。責任ある業務慣行を TI のサプライ・チェーンにも導入する方法で、リスクを軽減しています。
- 株主の長期的な利益に貢献するサプライヤを探し求めています。その目的でサプライヤが実現できる具体的な手段は、成長のためのスケール化対応、全体的なコストの削減と廃棄物の低減、効率の向上、革新的なサービス、原材料、および製品サポートの提供です。

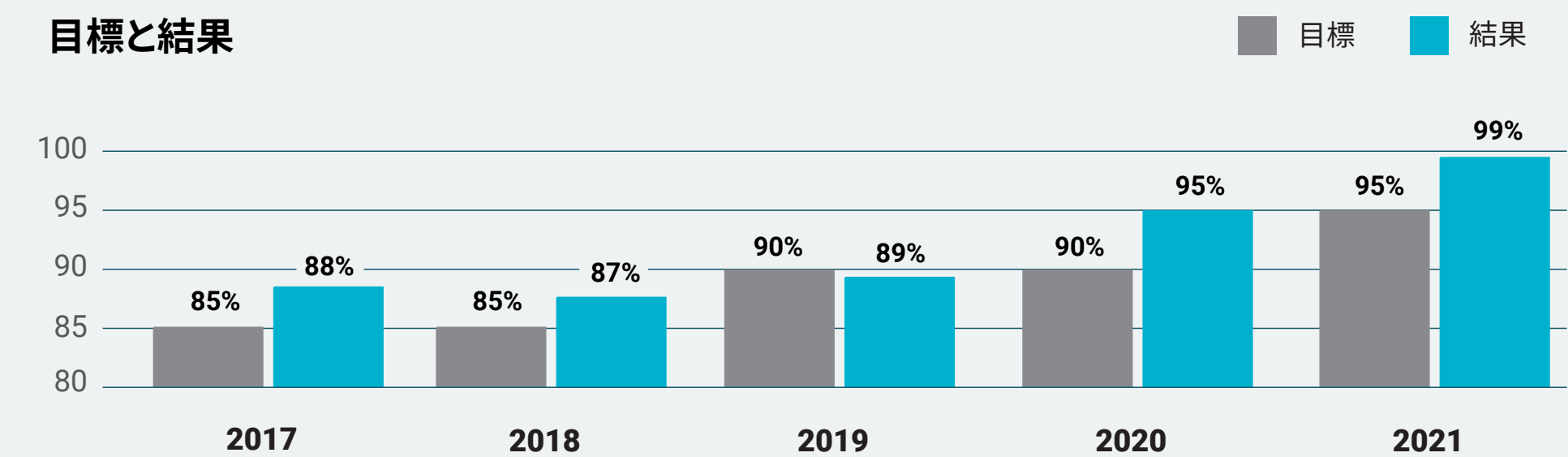
TI の [supplier website](#) (サプライヤ向け Web サイト) は、TI の調達戦略、サプライヤのリスクと管理に関するシステム、取引を実施するための要件、[Anti-Human Trafficking Statement](#) (非人道的な人身売買に関する声明)、透明性に関する TI の取り組みを詳細に記述しています。これらの資料は、法令、規定、期待を確実に遵守できるように、TI と第三者機関がサプライヤの実績を毎年評価する方法に関する記述も掲載しています。TI は、これらの監査によって明らかになった事項を『コーポレート・シチズンシップ・レポート』で開示しています。

性能

2021 年に、TI は 300 社近くのサプライヤを評価し、各サプライヤが RBA (Responsible Business Alliance: 責任ある事業同盟) の code of conduct (行動規範) に調和しているかどうかを判定するほか、人権や強制労働に関する懸念も含め、各サプライヤのエシックス、環境、社会的なリスクも評価しています。これらの評価の一環として、360 箇所を超えるファクトリ (工場) の所在地で TI の製造事業を支援している 163 社の製造サプライヤを評価し、99% が TI の期待を満たしていることが明らかになりました。残りの 1% は、追加のトレーニング、ポリシーの強化、勤務日程の改善を含め、是正措置が必要でした。

個別のリスク評価がどのような値であっても、実際のリスクまたはリスク懸念事項を形成する可能性のある項目 (雇用活動、労働時間数、賃金と福利厚生など) を抱えているあらゆるサプライヤに対して、TI は是正措置を講じることを求めます。完了するまでは、TI はそれらのサプライヤの行動を監視します。

目標と結果



環境的責任と社会的責任のSAQ評価で、すべての施設が低リスクに分類された製造サプライヤ。

RBA (責任ある事業同盟) のメンバー

TI は、グローバル・サプライ・チェーンにおける企業の社会的責任に取り組む業界団体である RBA (Responsible Business Alliance: 責任ある事業同盟) に所属しています。また、RBA Code of Conduct (RBA 行動規範) の中で概要を規定されている各種基準に適合しています。TI はまた、Semiconductor Industry Association (米国半導体工業会)、Semiconductor Equipment and Materials International (国際半導体製造装置材料協会) などの業界団体に定期的に協力し、サプライチェーンのベスト・プラクティスと基準について協議しています。

多様性のあるサプライヤとの取引の遂行

TI はマイノリティ (少数民族) や女性が経営する企業 (minority and women-owned business enterprises: MWBE) に関与し、それらの企業が、独特かつ革新的でコスト効率の優れた製品とサービスを TI に提供する機会を提供してきました。TI の契約の多くは、米国テキサス州を拠点とする MWBE との間で締結しており、それらの企業は TI 本社と主要な製造施設を支援しています。TI と MWBE の取り組みは、地域社会の経済に貢献しています。

毎年、TI は自社が計画したプロジェクトのタイプと、資格ある MWBE の有効性に基づいて、支出目標を設定しています。MWBE に支払う TI の支出比率には、米国テキサス州リチャードソンにある TI の 300mm 半導体ウェハー製造施設の拡張など、TI の事業やプロジェクト全体に対する支援を含めています。2021 年に TI の支出のうち MWBE への支払いが占めた比率は 20.3% でした。この値には、日常的な業務に関係する契約と、リチャードソンにある TI の施設拡張の契約の両方を含めています。リチャードソンの拡張に関連する契約を除外した場合、TI の支出比率は 8.8% でした。

MWBE を支援するための TI の取り組み

30 年前に TI が Dallas Together Covenant (ダラス協力契約) に最初に参加したときから、Women's Business Council – Southwest (女性経営企業協議会 – 南西部) と Dallas/Fort Worth Minority Business Development Council (ダラス / フォートワース・マイノリティ企業開発評議会) に継続的に提携している現在まで、TI は各種 MWBE を積極的に支援しています。TI は毎年、以下を実施しています。

- 地元 MWBE の経営者を指導し、契約への入札、在庫の管理、サプライヤとの協力関係の構築、顧客ベースの多様化に関するスキルを強化できるように支援します。
- Women's Business Council – Southwest (女性経営企業協議会 – 南西部) を通じて、Lillie Knox Investment Award (リリー・ノックス投資賞) を財務面から支援しています。この賞は受賞者に対して最大 2 万ドルを投資し、業容の拡大や事業の成長を促進しています。
- 既存の MWBE の経営者と面会し、契約を拡大する機会について判断するほか、TI 以外にも安定的な顧客ベースを確保できているかどうかを検証します。
- Dallas LGBTQ+ Chamber (ダラス LGBTQ+ 会議) のような団体に参加し、TI のサプライヤ・ベースのいっそうの多様化を図ります。



紛争鉱物

TI は、コンゴ民主共和国 (Democratic Republic of Congo: DRC、旧ザイール) や周辺地域の武装グループへの資金提供または援助源になる鉱物を自社製品が含有していないことを確認する複数のプロセスを実施しています。これらの原材料に該当するのは、錫、タンタル、タングステン、金です。

TI が実施している行動

下請けメーカーを含むサプライ・チェーンと緊密に協力し、不適合な原材料の発生源を特定し排除するために努力しています。紛争鉱物サプライ・チェーン管理 (Conflict Minerals Supply Chain Management) に関する TI の標準的な事業手順は、方針、構造、手順、リスク管理、コミュニケーション体制の確立を必須とする OECD (経済開発協力機構) の Due Diligence Guidance (デュー・ディリジェンス・ガイダンス) に準拠しています。TI は、自社の Conflict Minerals Policy (紛争鉱物ポリシー) を 1 次サプライヤ (1 次下請け) と 2 次サプライヤの両方に配布し、TI が情報を要求した際にサプライヤが全面的かつ迅速に対応できるように強化を図っています。

性能

これまでの数年にわたって、TI は自社のサプライ・チェーンが紛争と無関係であることを確認するために、責任ある鉱物保証プロセス (RMAP: Responsible Minerals Assurance Process) の事実主に依存してきました。RMAP は、独立した第三者機関が精錬所の管理体制と調達慣行を評価し、その精錬所が処理するすべての原材料が紛争とは無関係の出所に由来することを実証できているかどうかを判断するプログラムです。TI は、サプライ・チェーンにおけるコバルトの使用を開示する措置を開始しました。

TI の調査と情報収集によると、これまでに評価対象になった精錬所のうち、武装グループに資金提供や援助を行った精錬所はありません。TI が紛争鉱物を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の [SEC form SD filing \(SEC フォーム SD の記録\)](#) セクションと Supplier Social Assessment (サプライヤの社会評価) セクションをご覧ください。

TI の IC 向けサプライ・チェーンに關与している可能性のある精錬所

	2018	2019	2020	2021
紛争鉱物不使用	100%	100%	99.6%	99.6% ¹⁵
RMAP による評価中	0%	0%	0.4%	0.4%

保管に関する追跡のチェーン

TI のサプライ・チェーン内で、CM (紛争鉱物) に関する供給元の国または地域、保管のチェーン、紛争のステータスの詳細情報を入手できるように、TI は責任ある鉱物保証プロセス (RMAP: Responsible Minerals Assurance Process) の事実主に依存してきました。RMAP は RMI (責任ある紛争鉱物構想) の監督下にあります。RMI は、RBA (責任ある事業同盟) と Global e-Sustainability Initiative (グローバル e サステナビリティ構想) のメンバーによって設立された組織です。TI は RBA のメンバーであり、RMI と RLI (Responsible Labor Initiative: 責任ある労働構想) 両方に参加する作業部会のメンバーでもあります。

¹⁵ この紛争鉱物報告に「活動中」と記載された精錬所の 1 つである Tin Smelting Branch of Yunnan Tin Co., Ltd., (中国にある雲南錫有限公司の錫精錬支社) は、2022 年 3 月 18 日に RMI によって「conflict-free」(紛争と無関係) であると認証されました。RMI の複数の規格に対する特定の不適合性を解決するために、2021 年 5 月 28 日に RMI がステータスを「活動中」に変更するまでは、この精錬所は「conflict-free」(紛争と無関係) と記載されていました。その不適合性は、すでに解決済みです。

労働と人権

人権を尊重し、保護することは、私たちの社会を正常な状態に維持し、TI の事業を成功させるための土台になります。

すべての雇用が自発的なものであり、労働時間数と賃金は公正かつ地元の労働規定と法令に準拠していることを確認できるように、TI はさまざまな手段を講じています。TI は、どの事業分野でも児童労働を利用することはありません。TI の従業員には、地域の法令で認められている結社の自由や団体交渉の権利の両方が認められています。また、TI は世界各地の従業員への調査と、オンラインおよび対面での話し合いを定期的実施しており、各拠点特有の労働環境をよりの確に把握できるよう努めています。

TI が実施している行動

TI は人権に関するリスクを監視し、違反を排除するために、以下の行動を実施しています。

- OECD Guidelines for Multinational Enterprises (OECD 多国籍企業行動指針) に従って、定期的なリスク評価とサプライヤに対するデュー・デリジェンス (注意義務) を実施しています。
- TI はまた、リスクの高い地域で、第三者機関による監査や、オンサイトでの面接と評価を実施し、従業員、サプライヤ、契約社員の権利を確実に保護しています。
- TI は、労働規定の評価、研修の実施、意識向上活動、結社の自由、インシデント報告ツールの提供を行います。

TI が懸念事項に対処する方法

職場の懸念事項と改善の機会を表明するために、従業員は社内にある複数の関係部門に連絡をとるための複数のチャネルを使用できます。人権侵害や差別などを報告するために、従業員の誰もが、直属の上司、人事部門の担当者、TI のエシックス・オフィスを通じて懸念事項を表明すること、または匿名でエシックス・ラインに接触することを奨励されています。TI はその懸念事項を把握した時点で、会社側がただちに状況を評価して対処に努めます。

TI が人権を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI 指標) の Human Rights Assessment (人権評価) セクションと Human Rights Security Practices (人権とセキュリティに関する慣行) セクションをご覧ください。



人権に対する TI の取り組み

TI は自社の事業と自社のサプライ・チェーン全体で、人権を支持し、個人の尊厳、自由、尊重を確保するための取り組みを実施しています。

リスク管理と事業継続性

TI は、サイバー攻撃、天災、異常気象、パンデミック、地政学的問題、社会不安、テロリズム、またはサプライ・チェーンや製品流通の遅延など、予期せぬ業務運営リスクおよび新たなリスクの両方を継続的に監視し、計画を立て、トレーニングを実施しています。TI は自社が所有し世界各地にある合計 15 箇所の多様な製造拠点で、10 箇所のウェハー製造プラント、7 箇所のアSEMBリおよびテスト拠点、複数のバンブ (突起形成などの加工) 施設とプローブ (検証) 施設を運営しています。TI は社内の製造能力に加えて、複数の外部ファウンドリや下請け業者との強固な提携を築く方法で、継続的に製品を供給できます。

TI は事業の中断を低減するために、以下の行動を継続的に実施しています。

- リスクの監視、対処するための計画の策定と修正、危機への対応に関する従業員のトレーニング。
- 環境条件、サプライの継続性、グローバルな規制、政策面の全体像に関する変化の評価。
- 24 時間 365 日、通年で稼働しているセキュリティ・コミュニケーション・センターを運営。
- 多数の自社製造施設を所有し、顧客への製品供給の確実性の向上を実現。
- 需要発生に先立ってカタログ製品の在庫を 6 か月分から 2 年分維持し、お客さまの製造拠点の近くに位置する複数の在庫流通センターとハブに配分する形で、在庫を世界各地に配置。

緊急事態への対処

インシデントの性質と深刻さに応じて、TI は緊急対応システムを起動します。

TI の緊急対応チームは、潜在的な損失を低減するのに必要とされる、適切なリソース、サービス、インフラを迅速に特定します。また、社内の対応とコミュニケーションに関する調整を実施します。

事業のモデル化や、シナリオと影響の分析を実施して、管理戦略、ポリシー、規格、緊急事態対応計画の策定と改訂を実施し、以下のことを決定するのに役立ちます。

- TI の事業を構成する重要な業務プロセスと、それらの実行可能性の確保に責任を負う担当者。
- 潜在的な脅威とリスク、およびそれらを管理するために統制を実現するかどうか。
- 適切なリソースを使用して、効率の良い対応と復旧を確実に実施するためのプロセス復旧期間。
- 人材、会社の売上、評判に高いリスクをもたらす可能性のある、すべての重要な事業プロセスに対応するコンティンジェンシー (緊急事態対応) 戦略。
- 対応と復旧、製品とサービスの継続に関する優先順位設定のすべての側面を網羅するための包括的な復旧戦略。

TI の Readiness 2 Recover プログラムは、TI の事業継続管理の要件の有効性と準拠性を測定するのに役立ちます。2 年ごとに (または必要に応じて) TI はリスク評価を実施し、既存の統制とギャップの特定および改訂を行います。TI の各種リーダーが会社のリスク計画に関与できるように、以下の行動を定期的に変更します。

- 各種リーダーに対し、TI の従業員または製品に対する深刻さと潜在的な影響に基づき、各リスクの評価と優先順位設定を実施する方法を教育します。
- 実際の出来事やシナリオに基づく演習から学んだ教訓に基づき、コンティンジェンシー・プランの評価と更新を行うように各種リーダーに伝えます。
- 予見できない出来事に対する準備を整えるために、訓練、トレーニング、机上演習、拠点レベルの演習を実施します。

詳細については、TI の [SEC form 10-K](#) をご覧ください。

さまざまなシナリオに対処する準備

TI はグローバル企業であり、地震やパンデミックから深刻な気象災害まで、警告なしに発生する予期していない世界的な出来事に直面します。この種の出来事が及ぼす影響は、最小限で済むことも、大規模に達することもあります。課題が発生した場合、TI は人員、環境、財務、評判への影響を防止すると同時に、製造と流通を維持します。

実際の出来事に対する対応の習得、調整、改善を実現できるように、TI の事業継続性と緊急対応計画は、現実的なシナリオを想定し、さまざまな訓練を通じてリーダーシップ・チームに指針を示しています。

TI の事業継続マネジメント・フレームワークは、ISO 22301 の事業継続マネジメント規格に基づいてモデル化したもので、事業の中断に対して、TI が対策の計画立案、実現、監視、保護を実施するのに役立ちます。

情報保護

TI は、ITインフラおよび TI 独自の技術と秘密情報に対する潜在的な脅威の特定と排除に継続的に取り組んでいます。これらの保護は、事業の成長と収益性の鍵であり、関連する規制の遵守を維持するために必要です。

サイバー・セキュリティ・リスクの低減

TI のリスク管理プロセスは、ISO (International Organization for Standardization: 国際標準化機構)、NIST (National Institute of Standards and Technology: 米国国立標準技術研究所)、COBIT (Control Objectives for Information and Related Technologies: 情報技術と他の技術に関する統制の目標) などのベスト・プラクティス管理手法やガバナンスの枠組みに基づいています。

これらの組織のガイダンスと、TI が実施した評価から収集した情報を使用してリスクを低減し、TI のセキュリティ体制の強化や、会社組織と技術と知的財産 (IP) の保護を実現するためのサイバー・セキュリティ計画、ポリシー、条項を策定しています。TI のポリシーは、会社の情報資産の受け入れ可能な使用方法に関する定義、特定の IP (知的財産) または技術にアクセスするための要件、TI が個人情報と [プライバシー](#) を保護する方法に加え、EU の GDPR (一般データ保護規則) や中国の Cybersecurity Law (サイバー・セキュリティ法) などの規制を遵守する方法を明記しています。

TI のグローバル情報セキュリティ部門は、潜在的な脅威の特定と対処、各事業部やサポート・チームと連携した作業を通じて、社内のセキュリティを改善しています。その一環として、TI は以下を実施しています。

防御

- TI のコンピュータ、サーバー、ネットワーク、その他の IT システム上のデータへのアクセス制限。
- TI.com での製品のオンライン注文を含め、外部の攻撃から TI の Web サイト (TI.com や TIJ.co.jp など) を保護する技術的対策を実施。
- 多要素認証、マルウェア防御、アクセス・レビュー・プロセスなどの業界標準の保護機能の導入。
- TI の IT リソースと情報へのアクセスを要求するサード・パーティーに対し、リスク評価とコンプライアンス評価を実施。

監視

- USB またはサム・ドライブ、外付けハード・ドライブの使用に関する監視と制限を実施。
- IT システムを監視し、不適切なアクティビティに関するアラートに対応。

トレーニング

- フィッシングやスパイ型フィッシングをシミュレートした E メール (実際は脅威ではない、テスト目的の疑似的な有害 E メール) を従業員宛に必要なに応じて送信し、関連する教育と注意喚起に関する情報を発信。
- サイバー・セキュリティ意識と機密情報保護に関するトレーニングを TI の全従業員に提供するほか、社内の IT チームに専門的なセキュリティ・トレーニングを提供。

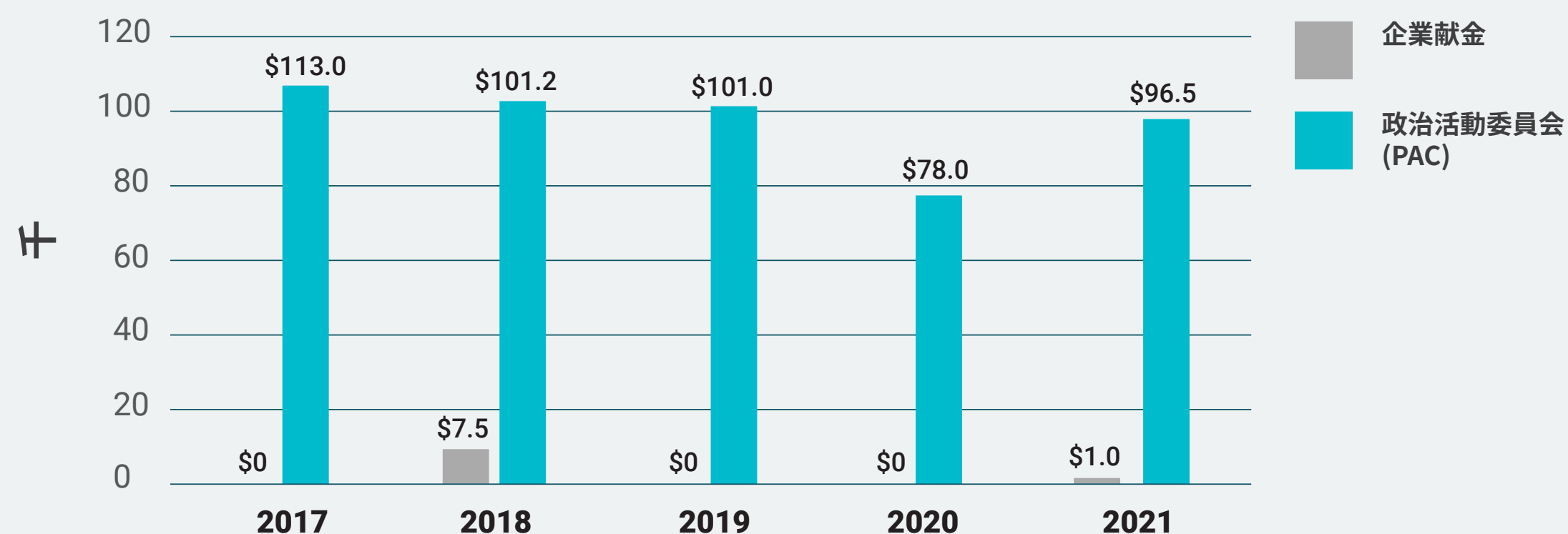


政策提言

TI は、人材の採用、革新の推進、競争力強化に寄与する政策を提唱しています。TI が政策に関して特に関心を抱いている分野は、税制、貿易、人材、人種平等です。

TI は、多数の団体¹⁶に所属し、さまざまな政策目標に協力しています。特定の団体での TI の活動は、他の団体における活動よりも活発です。TI は、すべての団体のあらゆる事項に賛同しているとは限りません。TI の提唱プロセスの詳細については、GRI Index (GRI 指標) の政策提言をご覧ください。

政治的支出¹⁶



¹⁶ 2017年、2019年、および2020年に、TIは地域の無記名投票構想への企業献金を行わない方針を選択しました。2020年のPACへの貢献は、COVID-19による影響を受けました。

TI の [Government Relations \(政府との連携\)](#) Web サイトは、当社の政治的活動、TI の PAC (political action committee: 政治活動委員会)、従業員による政治的活動、関連する政策と期待に関する詳細情報を明記しています。

TI の PAC は 100% 従業員の資金提供によるものであり、秩序だっており、透明性が高く、どの党派にも属していません。従業員は TI の PAC を通じて自発的に結集し、会社の事業目標と整合性の高い位置付けにある政治的候補者を、連邦、州、地域レベルで支持します。



職場環境

職場環境

TI の従業員は、日常的に TI の価値基準に基づく行動を実施し、半導体によってエレクトロニクス製品をよりだれもが手に届く手ごろなものにし、より良い世界を作り上げる、という熱意を具現化しようとしています。

TIの価値基準

信頼

最初に、信頼できる人間になります。誠実な行動をとり、常に正しいことを実行します。TI は、社会的責任に沿った事業運営を行います。信頼されるということは、会社として、個人としての私たちの基礎です。

多様性

多様性は成功へと導きます。全員の能力を引き出し、敬意をもって互いに接し、互いの違いを尊重するとともに、考えやアイデアを出し合うよう促す環境を作り上げます。

革新性

革新的であることで、成功します。私たちは、魅力的な製品を製造し、新しい市場を開拓し、競争力を高める新しいテクノロジーを想像しています。私たちは好奇心を維持し、永続性を実現すると同時に、障壁を克服するために決意を抱いています

Competitive (競争力)

私たちは競争が不可欠であることを理解しています。私たちは敗北を望みません。そのため、最善を尽くせるように、自らに対して継続的に課題を課します。私たちは、持続可能な成長を実現できるように、最善の機会に投資します。競争力を維持するために、TI は優秀な人材を採用し、能力開発を進め、維持します。

結果重視

TI は結果を重視し、責任ある言動を心がけています。お客様には複数の選択肢があります。TI は緊急性を持って行動し、お客様が TI を継続的に選択してくださるよう物事に取り組みます。お客様の成功を支援するために、私たちは業務を継続的に改善します。

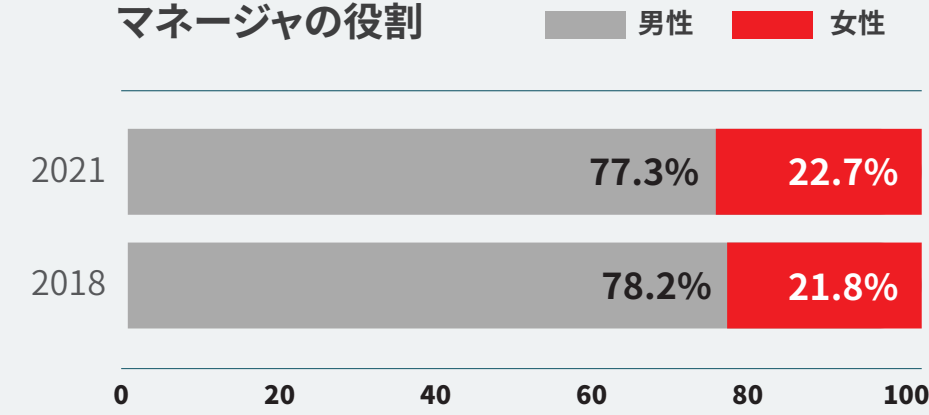
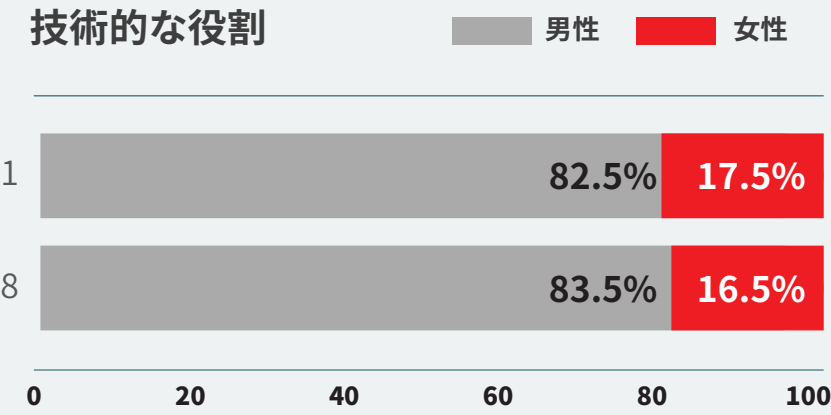
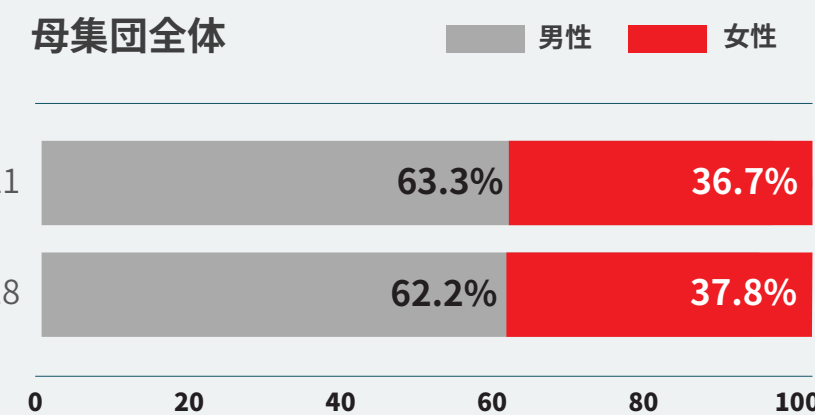


労働力の比率

TI はより多くのことを実施する必要が生じますが、多様性と包摂性に関して TI が実現してきた進捗状況は有望なものです。TI は数十年にわたって、ダイバーシティとインクルージョンに関して継続的に取り組んできました。継続的な取り組みの一環として、TI は性別、人種、民族という人口学的な分類に対する従業員の相対的な比率を定期的に評価し、どこにギャップが存在するのか、またあらゆる階層で多様性を目指して進捗を継続するために、どの分野をより重視する必要があるのか理解できるようにしています。

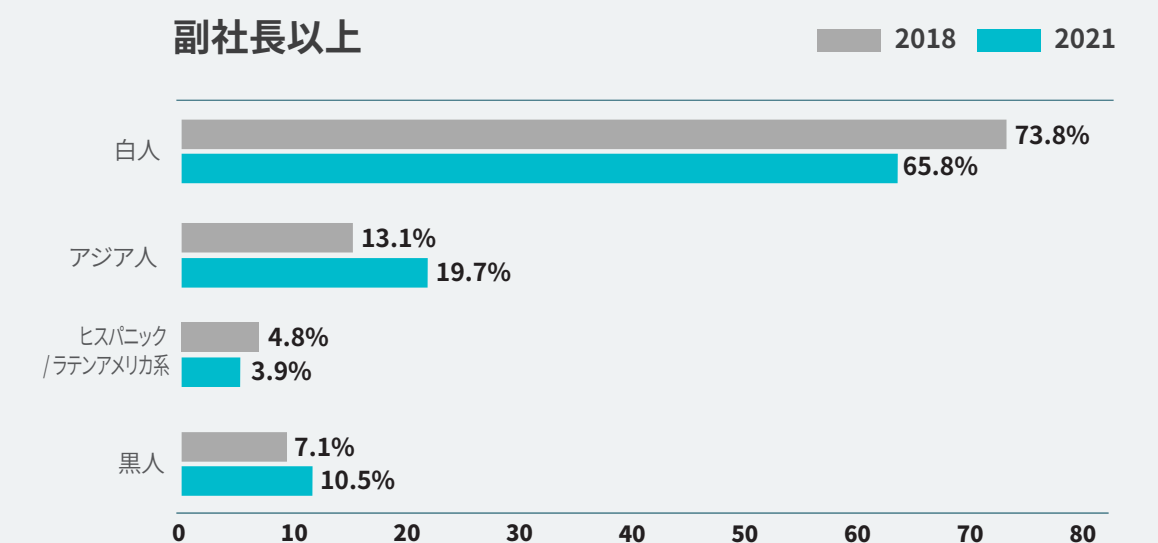
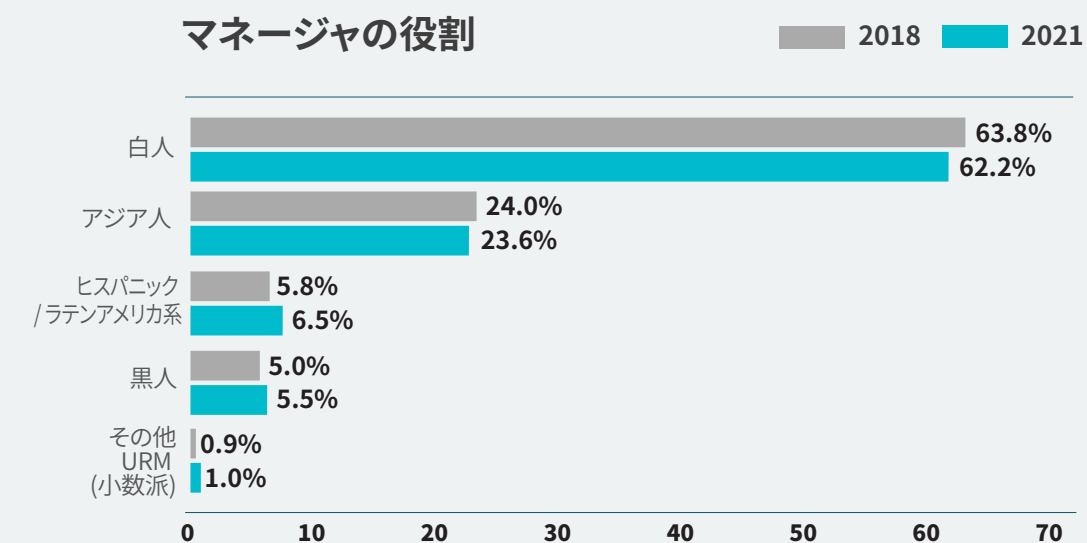
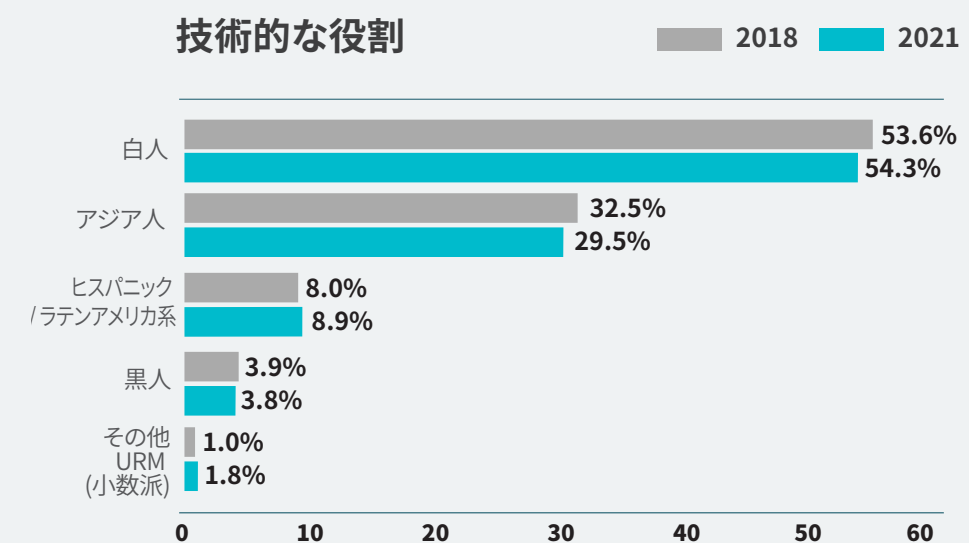
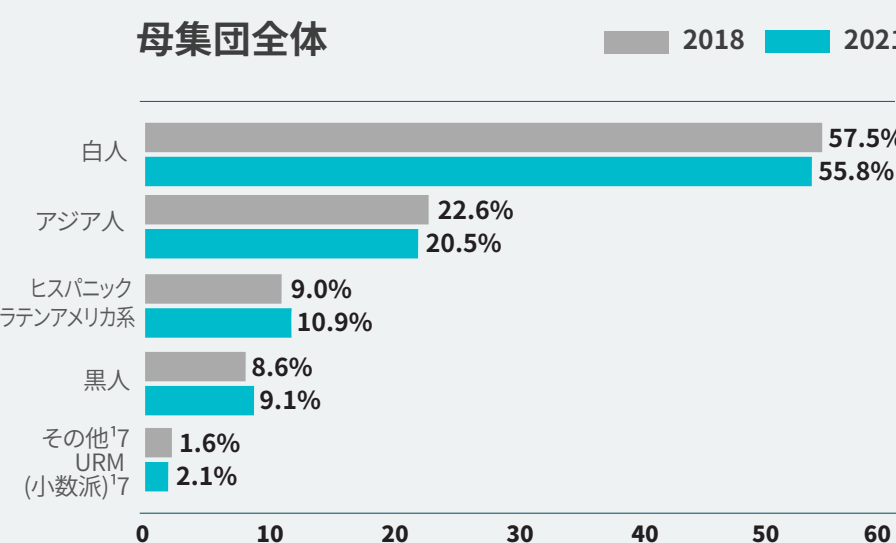
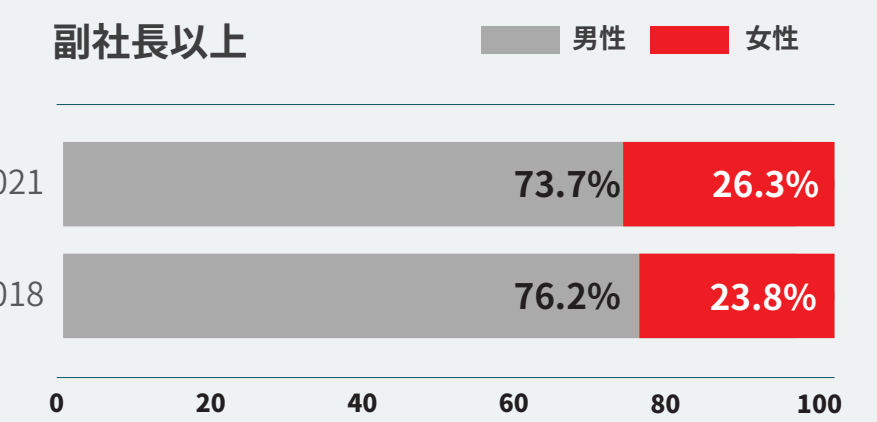
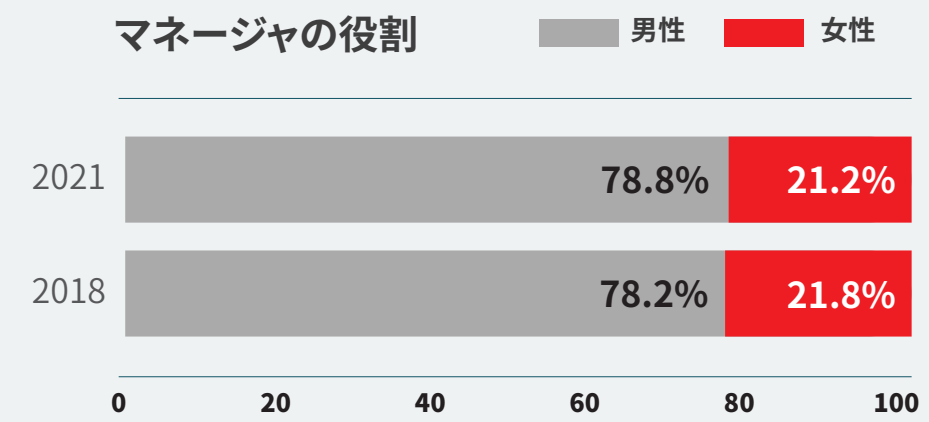
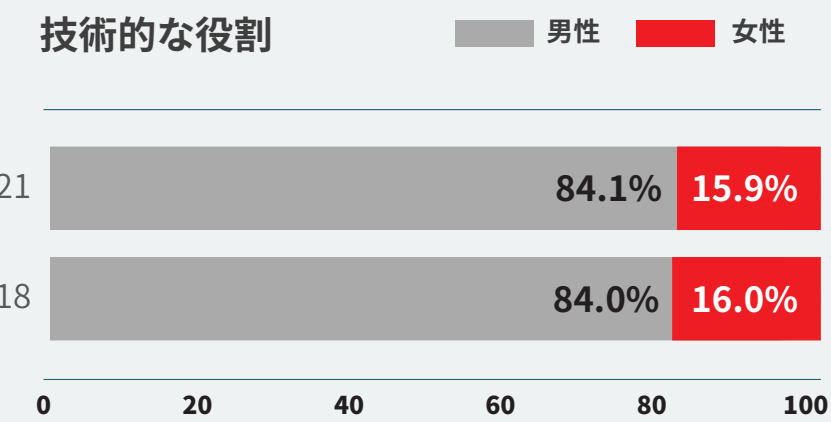
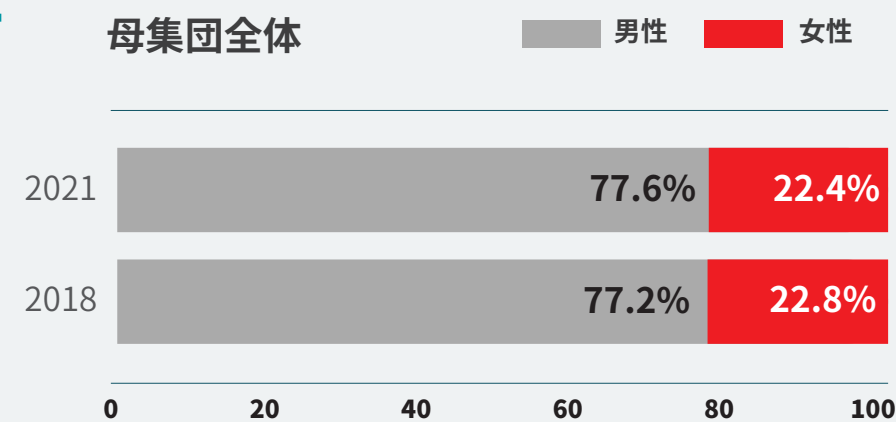
工学専攻とキャリアに関し、女性および不利な環境にあるマイノリティ (少数派) が、男性や非少数派と同じ水準に達していないという事実が明らかになります。この理由で、TI は高校や大学や非営利団体との間でエンジニアリング関連の連携を拡大することを重視しています。

ワールドワイド



TI の労働力に関するデータは、次の従業員グループを対象にして、性別ごとの比率 (世界全体と米国それぞれの母集団)、人種や民族ごとの比率 (米国の母集団) による分類を含めています。世界全体、技術部門、マネージャ、副社長以上の階層。この複合的なグラフは、TI の労働力に関する雇用、キャリアの積み重ね、雇用の定着の各分野で見られるダイバーシティ推進の進捗状況を最も的確に反映しています。

米国



¹⁷ TI の定義する「Other URM」(不利な環境にあるマイノリティ: underrepresented minorities) は、ネイティブ・ハワイアンやその他太平洋諸島の出身者、アメリカン・インディアンまたはアラスカ・ネイティブ、あるいは複数の民族に属している人。詳細については、TI の [EEQ-1 report](#) をご覧ください。データの合計が 100% に達していない場合、ここで未開示のデータがわずかなパーセンテージを占めていることが原因です。

ダイバーシティとインクルージョン

各種従業員リソース・グループ (ERG)

30 年以上にわたって、[TI Diversity Network](#) (TI ダイバーシティ・ネットワーク: TIDN) は、従業員が主導する 15 のリソース・グループ (ERG) を通じて、従業員の教育、および従業員にとって重要なトピックが表面化されることを支援してきました。これらの ERG には、数千人のメンバーが所属しています。1989 年に発足した女性の ERG、および Hispanic/Latinx (ヒスパニック系とラテンアメリカ系) の ERG が TI における発端でした。すべての TI ERG には目標と目的がありますが、それらは会社の価値基準と目標との整合性を維持し、会社の方針を支持するものです。各 ERG を主導するのは複数の従業員によって構成されたチームであり、各 ERG を少なくとも 1 人の TI 役員が後援しています。

2021 年に ERG は、TI 従業員がさまざまな方法で参加するプログラム、パネル、イベントを合計数百主催しました。次に例を示します。

- Black Employee Network (黒人従業員ネットワーク) は Black Engineering Collective (黒人技術集団) を形成して、TI Tech Ladder (TI テクニカル・ラダー) になることを希望する TI 従業員を支援し、技術的リーダーシップに関するスキル形成を推進しています。また、このネットワークは、HBCU (historically Black colleges and universities: 歴史的ないきさつで黒人主体の専門学校と大学) の重要性、Juneteenth (6 月 19 日の奴隷解放記念日)、人種的偏見が及ぼす影響に関する意識向上を図るために、複数のプログラムを主宰しています。
- Chinese Heritage Network (チャイニーズ・ヘリテージ・ネットワーク) は、Dallas Holocaust and Human Rights Museum (米国テキサス州ダラスのホロコーストおよび人権博物館) と連携し、アジア人に対する暴力に関する意識向上と対策を推進しています。
- Pride network (プライド・ネットワーク) は、性的嗜好、性同一性と表明、人称代名詞の使用法に関する基礎知識、および職場における LGBTQ+ の包摂性を共同して推進するための重要かつシンプルなヒントを、世界各地の TI 従業員に伝えるオンデマンド・コースを発足させました。

TI が多様性と包摂性を擁護する方法の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の Diversity and Equal Opportunity (多様性と機会均等) をご覧ください。

重要な事項に関する対話

インクルージョンな文化を協力して作り上げるために TI が実行している方法の 1 つは、グローバルな非営利団体である Catalyst との間でグループ・ベースの対話チームを定期的に設けることです。この方法は、多様性のある労働力にとって、より良い職場を作り出すのに役立っています。これらの対話チームの目標は、包摂に対する個人的な障壁と体制的な障壁の両方を識別できるようにするため、また排他的な慣行や課題をもたらすステレオタイプを取りやめるための学習を通じて、自己認識能力を築き上げることです。このようなセッションは、さまざまな背景を持つあらゆる階層の従業員の間で、率直かつ建設的な対話を促しています。この方法で、TI は従業員やリーダーが自らの経験を公開し、社内の多くの場所にある談話室で同僚と会話をすることを推奨しています。



包摂的な環境を形成するための TI の取り組み

TI は以下の方法を通じて、入社希望者との面談、業務実績の再確認、報酬の支払い、昇進の決定をする際に、社内プロセスで偏見を低減することを重視しています。

- 雇用と能力開発を担当する各種マネージャに、無意識の偏見 (アンコンシャス・バイアス) に対処するためのトレーニング修了を義務付けます。
- 実績管理ワークショップで無意識の偏見に関するコンテンツを利用できるようにし、TI 従業員も学習と能力開発に関する TI のシステムを通じてこのコンテンツに直接アクセスできるようにします。
- 能力評価を実施する前に、無意識の偏見を理解し、認識を深めることができるように、各種リーダーのトレーニングを実施します。たとえば、業務実績を評価するときに、各種リーダーは具体的かつ客観的な基準を使用して専門職としての成長を評価し、複数の情報源から独立したフィードバックを収集します。

採用

人材を採用し、業界で最高クラス的能力を有する人材の雇用を継続することが、TI の成長と発展を左右します。TI は革新と成長を推進するために、多様な経験と背景を持つ [従業員を雇用](#) する目的で、多面的なアプローチを採用しています。

TI は就職フェア、情報提供セッション、ネットワークおよび就職準備イベント、さまざまな学生団体とのパートナーシップを通じて、TI のインターンシップへの参加やフルタイムの職位への就職を工学と経営を専攻するトップクラスの学生に積極的に働きかけます。

TI は、業界団体を通じて人材との多様な連携を拡大することを重視しています。次に例を示します。

- TI は、大学とのパートナーシップ、社内の女性 ERG (従業員リソース・グループ)、さらに SWE (Society of Women Engineers: 全米女性技術者団体) のような業界団体を通じて、女性エンジニアや女性ビジネス・リーダーとの連携を継続的に拡大しています。
- TI は、米国の各大学や 2 年制の技術教育機関にある退役軍人サービス団体、軍事基地、RecruitMilitary のような組織を通じて、スキルのある退役軍人を雇用しています。



TI が人材採用を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の 401-1 インジケータ (指標) と Labor/Management Relations (労使関係) セクションをご覧ください。

応募者は次のような理由で TI を選択しています。

- 刺激的で影響力のある仕事。
- 世界有数の優れた技術者たちと共に働く機会。
- 従業員の生活向上に役立つ、競争力のある給与と福利厚生パッケージ。
- 従業員が自分で自分のキャリア・パスを選択していると感じられるキャリア開発の機会
- すべての従業員が自分らしく働き、最善を尽くすことができる包括的で多様性のある文化
- フレキシブルな勤務オプションは、TI 従業員とその家族が個人的な生活を最大限活用するのに役立っています。

TI の 300mm ウェハー・ファブでプランニング・マネージャを務める Liz は、数世代にわたって軍務についてきた家族から、米国陸軍に加入するよう影響を受けてきました。陸軍を退役した後、彼女は米国テキサス州ダラスにある TI のウェハー製造工場で見学を受けました。Liz は、課題に取り組む方法に関して TI と陸軍はどのように似ているだろうか、と考えました。

「どちらも、問題に対して取り組むこと、および解決策を作り出すためにチームに頼ることを重視しています。軍と TI が私に教えてくれたのは、リーダーシップについて、また時には自分自身のニーズや目標設定より先に、配下にあるチームのニーズや目標設定を優先する必要があることがある、という点を理解することでした。私は TI 従業員としては、長年の経験があり、働く母親でもあります。誠実さ、責務、名誉、敬意という、陸軍で学んだ内容から教訓を導き出しています。私は TI における自分の職務でも、これらと同じ特質を重視しています」



開発

TI は、従業員が個人の目標を設定し、個人の能力開発計画を策定した後、成功に必要なスキルを特定して身に付けることができるように、従業員を支援します。TI はすべての従業員に、1 年間に少なくとも 3 回はマネージャと面談して能力開発と実績について話し合い、マネージャからのフィードバックの獲得、進捗状況の文書化、どのような改善が必要なのか判断することを奨励しています。

加えて、TI はラーニングと能力開発の公式な機会を、あらゆる階層にいる新規採用と既存の従業員に提供し、継続的に進化できるようにしています。従業員はいつでも、雇用とラーニングに関する社内のシステムにアクセスし、職業経験の探索や能力開発パスの図式化、または必須のトレーニング・モジュールや他のラーニング・モジュールを修了することができます。オンライン形式のトレーニングを採用した結果、2021 年は TI 従業員全体で合計 44,500 近いコースを修了しました。

TI はインターンシップから退職まで、専門職として成長を続けることができるように、ラーニングの機会をカスタマイズしています。

インターン

TI のインターンシップは、参加者各自の教育を生かして、関心のあるプロジェクトで重視される慣行を身に付ける機会を提供します。TI のインターンは初日から、実際に影響を及ぼす可能性のある、実践的で有意義な業務の割り当てを受けます。TI のインターンシップ・プログラムは、主なリーダーに接し、社内のあらゆる階層に位置する TI 従業員とのネットワーク構築や学習を進める機会を提供します。



早期の職業経験

新卒者または卒業見込み者は、以下のイベントに参加できます。

- 1 年間にわたる Make an Impact プログラムは、業務実績の強化と職業経験の成長迅速化を意図して、事例研究、グループでのプロジェクト進行と評価、さらにツール、プロセス、基本スキルに関する集中的なトレーニングを実施する短期集中講座に参加することになります。
- グローバル・ローテーション・プログラムは、新卒者が自らの意識を学生からプロフェッショナルに切り替え、さまざまな役割で経験を積むのに役立ちます。
- Early career pivotal learning role (ECPLR: 早期キャリア・ピボット・ラーニング・ロール) プログラムは、「ピボット」つまり特定の中心事項を設けているのが特長です。推薦された従業員は、TI の多様な分野のリーダー、技術エキスパート、スタッフと緊密に連携して、新しい役割またはスキル・セットに取り組みます。2014 年以来、TI はこのプログラムへの参加者のうち 30% を管理職に昇進しました。

マネージメント

TI は以下の活動を実施し、TI 従業員が管理職として成功できるように支援しています。

- 従業員のリーダーシップ能力を強化。
- 重要な考え方に関する能力開発。
- 無意識の偏見 (アンコンシャス・バイアス) の認識と低減。
- 複数の個人で形成されたチームをリードする役割から、適切な指導を実行できるマネージャへの移行。
- リーダーシップが及ぼす影響、主な利害関係者との関係構築する方法、戦略策定して適切に伝達する方法を理解することによる、より複雑な役割への移行。

テクニカル・リーダー

TI は能力開発の手段をカスタマイズし、自社のエンジニアが技術的能力の高度化、ベスト・プラクティスの共有、さらにリーダーシップ、コミュニケーション、影響力など、ソフト・スキル、つまり対人分野の能力開発を推進できるように支援しています。テクニカル・リーダーは、TI の名誉ある Tech Ladder (テクニカル・ラダー) という技術指導者への昇進を目指すこともできます。Tech Ladder は、TI のテクニカル・リーダーのうち上位 24% を占めています。

TI が従業員の能力開発を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の Training and Education (トレーニングと教育)、Employment (雇用)、Labor/Management Relations (労使関係) の各セクションをご覧ください。



2021 年の TI 従業員あたりの平均ラーニング時間

37.1



技術職にある女性の能力開発の迅速化

TI の Women for Technical Leadership (女性のための技術リーダーシップ:WFTL) プログラムは、Tech Ladder (テクニカル・ラダー) の多様な人材プールに対して、コーチング、公式トレーニング、座談会、関係構築の機会を提供し、雇用の継続、能力開発、リーダーシップの役割への昇進を実現できるように女性を支援します。WFTL を 2016 年に設立して以来、WFTL は Tech Ladder (テクニカル・ラダー) として選抜される女性の数を 50% 近く増やしてきました。

多様性と包括性を担当する副社長である Yesenia Moore は次のように語ります。「WFTL、つまり女性のための技術リーダーシップを 2016 年に設立したとき、私たちは女性の選抜選挙参加率が男性の参加率のおよそ半分になることを想定していました。私たちは最近 5 年間で、Tech Ladder 選抜選挙への女性参加率の大きな改善を目にしてきました。この事実は、今後の進展を示唆しています」

Amos Tang は、2021 年に同僚になったメンバーですが、最近、Tech Ladder として選抜されました。現在、他の女性に申し込みを促すことを楽しみにしています。

Amos Tang は次のように語ります。「トレーニング・セッションや、リーダーシップ職との座談会は、テクニカル・リーダーとしての新しい視点を獲得するのに役立ちました。このプログラムは、自信の育成、自分自身を表明する方法、他の人たちとつながる方法を扱います。また、他の人を継続的に適切に指導し、成功に導くよう動機付けを与えるものです」

Kiki Schuck は WFTL に参加したほか、職業経験の早期段階で Tech Ladder に選抜されました。Kiki Schuck はこう語ります。「WFTL に参加し、Tech Ladder に選抜された結果、私は自分の声に耳を傾けやすくなり、自信を深めることができました。同僚からこのように認められ、この技術グループの一員として選抜された結果、私は新しい好機への取り組み、問題の解決、革新の実現にあたって自信を持てるようになりました」

Kiki Schuck, TI Tech Ladder (テクニカル・ラダー)
兼 WFTL (女性のための技術リーダーシップ) メンバー

給与と福利厚生

将来の成長を牽引する最も才能ある従業員を会社に定着させる目的で、TI は競争力のある報酬を支給しています。TI の報酬理念は、業績に対する報酬に基づいています。TI の成功に対する従業員の貢献と会社の業績の両方を考慮して、個人の報酬を決定します。

TI の報酬戦略に関する独自の要因の 1 つは、会社の財務的成功に寄与した TI 従業員¹⁸ 全員に報酬を支給するグローバル利益分配プログラムです。TI は各年の収益性に基づき、対象の収入に対する一定の割合で報奨額を決定します。

TI の利益分配に関する計算式は営業利益に基づいており、TI の営業利益が 10% 以上に達した場合に適用されます。営業利益が 35% に達した場合、最大支払い比率は 20% になります。すべての TI 従業員が、対象の収入に対する同じ支給割合を基本として報奨金を受け取ります。最近 6 年間にわたって、TI の利益配分計画は、資格ある従業員すべてに対して最大限の報奨金である 20% に相当するボーナスを支払いました。TI が報酬を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の Market Presence (市場でのプレゼンス)、Nondiscrimination (非差別) の各セクション、および 202-1、405-1、405-5 の各インジケータ (指標) をご覧ください。

公正な報酬支払いに対する会社の取り組み

TI は従業員に対して公正かつ平等に報酬を支払っています。TI は、性別、人種、民族など保護対象の特徴にかかわらず、競争力を高め、公正に報酬を支払う方針を維持してきました。現在は、社内の報酬支払いシステムの一環として、詳細かつ定期的な分析機能を含めたチェック / バランス機能を作り込み、この目標を確実に達成できるようにしています。

2021 年に個別の報酬分析を実施し、職種、職位、国や地域を考慮して (基本給、賞与、株式を含めた) 性別と人種ごとの支払いの同等性を検討しました。TI のこの分析により、米国内と世界各地で、女性に支払われている賃金の額が男性と同等であること、米国ではマイノリティへの支払額も非少数派への支払額と変わりがなかったことが判明しました。

¹⁸フランスやメキシコのような一部の国と地域では、該当する地域の利益配当プログラムに対する法令の要件があります。これらの要件に応じて、従業員は賞与を受け取ります。

競争力ある報酬と福利厚生

組織に関する知識のある従業員、技術や会社運営に関する専門知識のある従業員、適切な関係を構築した従業員の雇用を定着させることは、TI の最優先事項です。TI はまた、女性や過小評価されているマイノリティの雇用を定着させることも重要であると認識しています。

TI は雇用の定着に関する複数のアプローチを採用し、以下の提供を行っています。

- 競争力ある給与と福利厚生
- 整備されたキャリア開発計画、メンター・プログラム、役員との接触を実施し、専門職としての成長を支援しています。
- TI の各種 ERG (従業員リソース・グループ) を通じた同僚とのつながり
- スキルを向上させるための多くの機会

TI はまた、以下のようなさまざまなプログラムを提供し、それらを最大限活用することを従業員に奨励しています。これにより、従業員の福利厚生や、職場の満足度と生産性に悪影響を及ぼす可能性のある日常的なストレス要因が低減しやすくなります。

- フレキシブルな勤務体制調整
- 休暇の計画、予約などの個人的な取引のためのコンシェルジュ・サービス
- TI の Employee Assistance (従業員支援) プログラムを通じた、オンデマンド・リソースや託児所と介護施設の紹介
- 福利厚生を支援する、信頼できるカウンセリング・セッションとツール
- 養子縁組の支援および補償
- 妊娠と出産のための休暇

競争力の維持とサービスの改善を目的として、ワーク・ライフ・プログラムの選択肢をいっそう向上させるために、従業員が参加する形式でプログラムの監査を毎年実施しています。2021 年に、TI の社内文化、雰囲気、優れた従業員といった功績が認められ、求人関連の Glassdoor 社は年間の Best Places to Work (最高の職場) ランキングに TI を選定しました。

安全と健康

TI は、職場での怪我や病気はすべて予防可能であると考えています。そのため、TI は従業員の日常業務に対する投資と管理を実施し、安全と健康に関する慣行を取り入れています。

TI が実施している行動

安全性

私たちには、すべての従業員にとって安全で健康的な職場環境を実現するために、世界各地の拠点で安全要件とベスト・プラクティスを規定するなど、安全重視の社内文化があります。

安全に関する業界最高水準の記録を維持できるように、次のことを実施しています。

- 安全な職場環境の創出と運用
- 適切な安全手順と統制、および人間工学に沿った手順と統制の維持
- 社内基準の策定と維持。多くの場合、この基準は法規制の要件を上回っています。
- 本質的に安全な建物の設計および建築、機器のリスクへの対処
- 関連する必須安全トレーニング
- 個人保護具 (PPE) の支給
- TI の機器を検査
- 社内プロセスの継続的な監査と、コンプライアンスと実績の評価

健康

健康リスクにさらされる可能性を低減するために、TI は厳格な産業用衛生基準を適用しています。これらの基準は、有害化学物質とその他の原材料の安全な使用と適切な保管にとって必須の最小要件を確立します。これらの基準に該当するのは、危険性に関する通知とトレーニング、化学物質へのラベル貼付、危険廃棄物の管理です。

加えて、有害な可能性のある物質の使用の排除または制限、換気管理装置と隔離管理装置の設置、衛生と個人の一般的な評価の実施に取り組んでいます。

会社が TI 従業員に提供しているリソースは、政府から獲得できる健康関連の給付に基づき、国や地域によって違いはありますが、従業員の健康を管理するのに役立ちます。米国の場合、TI が提供するリソースに該当するのは、会社拠点内での無料のインフルエンザ・ワクチン予防接種、予防策となるスクリーニング・プログラム、フィットネスと栄養のプログラム、従業員支援プログラム、カウンセリング、教育サービスなどです。

TI の健康管理サービスは、医療上の重大な出来事を経験した TI 従業員、長期にわたって休職していた TI 従業員、複数の診断施設、治療施設、医療機関を利用している TI 従業員を対象として、健康状態を改善できるように指導と監督を行います。TI の福利厚生支援サービスは、医療処置の費用見積もりや、手ごろで質の高い医療機関の検索を支援します。詳細については、GRI Index (GRI 指標) の Occupational Health and Safety (労働安全衛生) セクションをご覧ください。



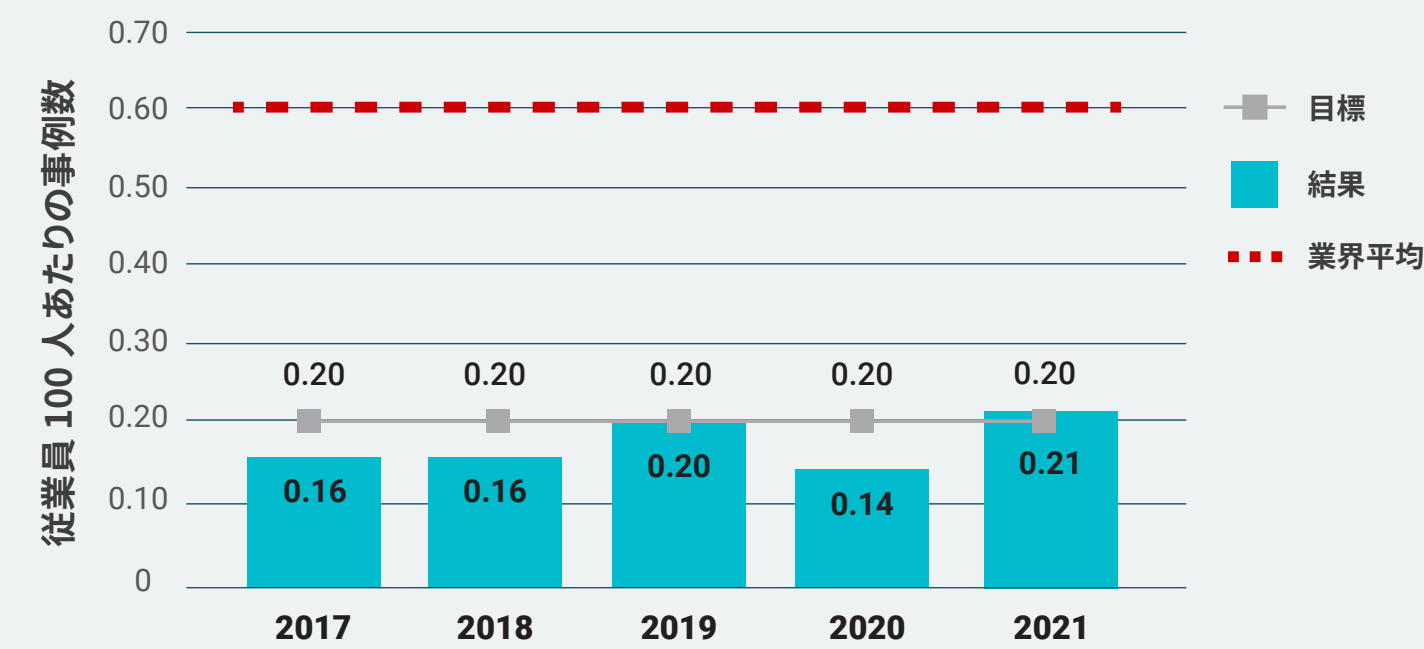
安全性の目標

TI は安全目標を設定し、休業、制限、または作業転換 (days away, restricted or job transfer: DART) の事例率を 0.08 以下、要記録事例率を 0.20 以下に設定しました。

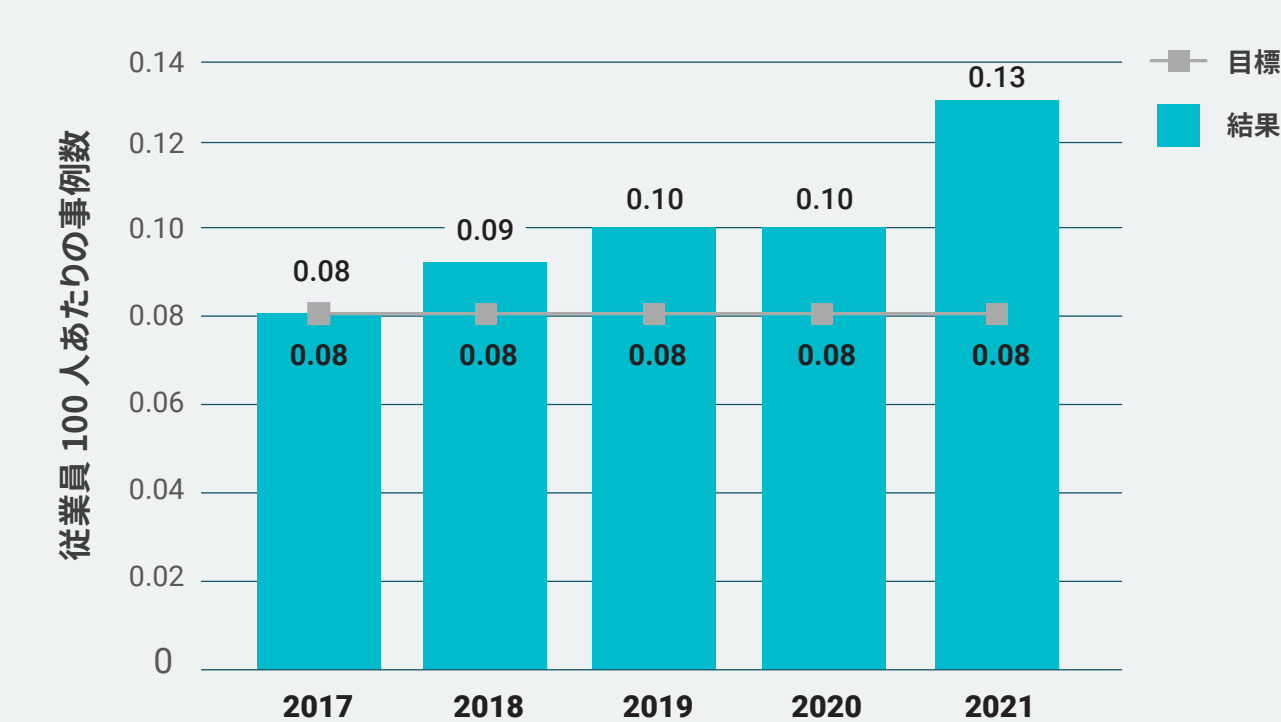
実績

2021年に、TIは要記録事例率とDARTの両方で、目標に近い水準を達成しました。TIのDART事例率は0.13でした。それに対し、2020年の業界平均は0.6でした(2021年の業界平均は現時点ではまだ入手できません)。米国労働安全衛生局(OSHA)と米国の労働統計局によると、TIのDARTと要記録事例率は、米国半導体業界の中で引き続き最小クラスに位置しています。

要記録事例率



重篤とされる休業・作業転換・作業制限を伴う傷病



従業員と補助的な請負業者の安全と健康に関するデータ

説明 ¹⁹	2018	2019	2020	2021
要記録事例数 (従業員)	0.15 (48 件)	0.16 (48 件)	0.14 (41 件)	0.19 (55 件)
要記録事例数 (請負業者) ²⁰	0.36 (6 件)	0.27 (5 件)	0.19 (3 件)	0.65 (10 件)
業務に関連した傷害に起因する死亡件数 (従業員)	0	0	0	0
業務に関連した疾病や体調不良に起因する死亡件数 (従業員)	0	0	0	0
業務に関連した疾病や体調不良に起因する死亡件数 (請負業者)	0	0	0	0
非常に重大な傷害件数 (従業員) ²¹	0.007 (2 件)	0.007 (2 件)	0.01 (3 件)	0.003 (1 事例)
非常に重大な傷害件数 (請負業者) ²²	0	0	0	0
労働時間数 (従業員)	58,253,519	59,425,882	59,410,887	57,376,381
労働時間数 (請負業者のみ)	3,335,737	3,658,678	3,084,874	3,076,776
業務に関連した疾病や体調不良の要記録事例数 (従業員)	4	9	10	10
業務に関連した疾病や体調不良の要記録事例数 (請負業者)	1	0	1	4

¹⁹ GRI の定義によって入手できる追加のデータ (補助的な請負業者とその他のデータを含む)。

²⁰ 毎日の業務指示を TI のマネージャから受けている補助的な請負業者を指しています。

²¹ 「業務に関連した非常に重大な傷害件数」の指標は、障害の重大度を判定するための基準として、失われた時間数ではなく、回復に要した時間数を使用しています。失われた時間数は、業務に関連した障害の結果、組織で発生した生産性の損失を表す指標です。これは必ずしも、労働者がこらむった障害の重大度を表すものではありません。

²² 時間数の報告は世界全体を対象にしています。TI の従業員を意味しており、臨時または補助的な請負業者は対象外です。

寄付とボランティア 活動

寄付

TI の 3 つの目標のうちの 1 つは、社員であることを誇れる会社、および地域の隣人として望ましい会社であることです。数十年にわたって、TI は事業を営む地域のコミュニティをより強力なものにするために働いてきました。

寄付とボランティア活動に関する TI のプログラム

1. 世界各地の TI 従業員に、寄付のキャンペーンとボランティア・プログラムへの参加を奨励します。
2. TI が事業を営む地域にある非営利団体への寄与を通じて、世界各地のコミュニティを強化します。
3. 最大の効果を達成できるように、財政的投資と従業員の参加を組み合わせます。

TI は生活の質を高める方法と、世界各地にある TI の拠点が位置するコミュニティを強化する方法を探し求めています。TI と TI Foundation は複数の地域で、よく考え、適切に測定を行う投資に携わっています。

教育

TI は慈善目的の寄付のうち金額の大きい分野として、教育の改善を対象にしています。2010 年以来、TI Foundation は特に STEM (科学、技術、工学、数学) 教育に 5,000 万ドル以上を投資してきました。その目的は、数学と科学の学習に伴う成果を改善すること、および歴史的に経済的障壁と教育的障壁に直面してきた、テキサス州北部の黒人系の生徒やヒスパニック系、ラテンアメリカ系の生徒の学習機会を向上させることでした。TI は世界各地で、TI の拠点が位置するコミュニティにある教育リソースへのアクセスを改善することを目標にしています。

福祉

人種や経済力の点で疎外された人々の間で重視されるニーズに対応できるプログラムとサービスを強化することも目標にしています。また、TI の拠点が位置するコミュニティや、自然災害または人災の被害者となった従業員向けに、緊急資金を確保しています。

人種平等

人種平等という概念を妨げるさまざまな障壁を打破するための各種サポート・プログラムを支援し、説明責任を強化する警察の訓練と慣行を重視しています。その結果、すべての人々は警察によって平等に扱われ、TI が拠点を置くコミュニティは、生活と業務にとっていっそう安全な場所になります。

芸術

米国テキサス州ダラスの文化的包摂性と活気を高めるのに役立つ芸術の継続を支援するため、活動範囲を広げる活動とプログラム設定の点で多様性を強調する優れた団体に対して TI Foundation が複数年にわたる寄付を行うほか、到達範囲と影響力を拡大する多様なグループに対して変化につながる寄付を行います。

2010 年以降の慈善活動の影響

TI と TI Foundation によるマッチング・ギフト、寄付、物品の寄付 **4 億 1,500 万ドル**

TI の寛大な従業員と退職者による寄付 **9,600 万ドル**

従業員と退職者による、ボランティア活動の時間数 **160 万時間**



世界各地の TI 従業員は、会社創設者が TI に設定した慈善活動の精神を具体化しています。それら従業員の寛大さは、特に多くの人が必要な助けを必要としているときに、控えめでありながら元気付けるものとなり、その行動を目にすることで、私たちは TI の従業員であることを誇りに思うもう 1 つの理由を得ることができます。

ANDY SMITH、寄付とボランティア活動担当取締役

2021 年の寄付活動

福祉

過酷な冬の嵐の期間中、テキサス州北部の屋外で過ごす人々のために応急住宅とサービスを提供したさまざまな団体に、TI は寄付を行いました。米国以外でも、TI とその従業員は COVID-19 関連の救急活動を支援するために、病院施設への寄付と、個人向け保護具の寄贈を支援しました。次に例を示します。

- インドのバンガロールにある Rajeev Gandhi Government Hospital's Institute of Chest Diseases (ラジブ・ガンジー公立病院の肺病対応機関) で実施された COVID-19 患者ケアの強化を目的として、TI からの寄付、TI 従業員の個人的な献金、TI Foundation によるマッチング・ギフトの合計は約 100 万ドルに達しました。この金額に加えて、TI は 2020 年のパンデミック発生以来、インドでの COVID-19 救急活動向けに別途 40 万ドルの金額を贈呈しました。
- TI 台湾は、Shuang-Ho Hospital (台湾のニュー・タイパイにある双和病院) の医療現場で働くヘルスケア労働者に、金額にして合計約 12 万 5,000 ドルに達する人工呼吸器、N95 医療マスク、不織布製の保護スモック、頭部カバーと靴カバー、フェイス・シールド、手袋を寄贈しました。
- ドイツの TI 従業員は St. Klara Children's Home (ザンクト・クララ子供の家) のクリスマス献金向けに寄付を集め、がんにかかっている子供を支援するプログラムのためにチャリティを実施し、合計金額は 1 万 1,000 ドル近くに達しました。また、災害救助のための寄付は 2 万 7,000 ドル近くに達したほか、歴史的な洪水が欧州の広い地域に大きな被害をもたらした後、複数の橋の再建を支援するためにボランティア活動に携わりました。

人種平等

Caruth Police Institute (カルス警察学校) の Project Center of Excellence (組織横断プロジェクト) である Active Bystandership for Law Enforcement (ABLE: 法執行のために積極的に行動する傍観者) の設立のために、TI Foundation はノース・テキサス大学ダラス校に 200 万ドルを寄付しました。ABLE は、事態を安全に取り扱えるように、隣人への介入に関するトレーニングを警察官向けに実施します。仮にこのようなトレーニングを受けていない場合、毎日発生する、そして多くの場合はストレスの多い法執行上の課題に取り組む際に、必要なスキルや応援を確保して事態をエスカレートされる必要が生じることがありますが、このトレーニングを活用すると事態に未然に対処でき、エスカレーションの必要性が低下します。

芸術

TI Foundation は、テキサス州ダラスにある複数の芸術団体に合計 150 万ドルを寄付しました。その中には、ダラスの居住者と訪問者の多様性を反映し、文化的小および人種的多様性を自らのプログラムの中で表現している複数の団体への合計 57 万 5,000 ドルの寄付もあります。寄付の中には、アジア人への憎悪や差別に対処するためのプログラムを実施している Dallas Holocaust and Human Rights Museum (米国テキサス州ダラスのホロコーストおよび人権博物館) への支援もあります。

教育

TI と TI Foundation は教育向けに 2,790 万ドルを寄付したほか、従業員や退職者が教育向けに行った寄付に対応するマッチング・ギフトとして 380 万ドル近くを支出しました。TI Foundation はダラス郡南部にある複数の公立学区への支援を続けました。この地域では 1/3 以上の居住者が貧困状態で生活していることに加え、COVID-19 のパンデミックにより、この地域に住む生徒や家族の経済的格差と教育格差が拡大していました。TI Foundation は、次のような支援も行いました。

- [Urban Teachers](#) (都市部の教師) と [Teach for America](#) (米国のための教育) の各プログラムに対して合計 335 万ドルを寄付し、ダラスの都市部と米国カリフォルニア州サンタクララ郡で、能力のある数学および科学教師を採用し、雇用を維持できるようにしました。
- National Math and Science Initiative (米国数学科学構想) の [College Readiness Program](#) (専門学校整備プログラム) を、どちらもテキサス州北部にある Grand Prairie (グランド・プレーリー) 独立校区と KIPP-DFW の複数のチャーター・スクール (認可学校) へと拡充するために、200 万ドルを寄付しました。このプログラムは、数学、科学、英語の Advanced Placement® (AP: 一般の授業より高度な教科教育) 教師向けのトレーニングであり、教師の効果を高め、AP 試験で合格に相当する点数を獲得する生徒の増加に貢献します。
- ダラス郡南部にあり、COVID-19 が原因で学習機会が減少した 2 つの校区に所属する生徒向けの新しい [social-emotional education program](#) (社会的情動的教育プログラム) に 90 万ドル近い金額を寄付しました。



新しい TI Biomedical Engineering and Sciences Building (TI バイオメディカル分野の工学 / 科学ビル) が患者ケアの改善に貢献

TI からの 1,500 万ドルの寄付を活用して、University of Texas at Dallas (UTD: テキサス大学ダラス校) と University of Texas Southwestern Medical Center (UT Southwestern: テキサス大学サウスウェスタン・メディカル・センター) は、新しい [Texas Instruments Biomedical Engineering and Sciences Building in Dallas](#) (ダラスの TI バイオメディカル工学 / 科学ビル) を建設しています。1,200 万ドルを費やすこの研究施設は、これら 2 つの主要な機関の協力を強化し、バイオメディカル (生体医学) 技術を理念から治療に移行することになります。テキサス大学ダラス校とテキサス大学サウスウェスタン・メディカル・センターはこの施設を通じ、バイオメディカルと工学の基礎研究と応用研究に関して、共同研究の利点を活用し、患者ケアを進歩させることができます。

「医療と工学は、以前は 2 つの異なる分野でしたが、今はこれらを組み合わせ、人間の生活や健康に関する新しい発見をすることができます。これを推進しているのは UTD と UT Southwestern です」と、TI の会長兼社長兼 CEO である Rich Templeton は語ります。「私が個人的に魅力を感じたのは、半導体技術がその中心にあることです」



2021 年の ABLE プログラムで、テキサス州北部の警察
部門から参加した警察官。

近隣住民の生活向上

毎年実施される United Way のキャンペーンは、TI が会社として実施する寄付やボランティア活動にとって不可欠な要因です。2021 年に、TI は合計 4,000 人以上の TI 従業員と退職者による寄付、企業からの後援、TI Foundation の寄付とマッチング・ギフトを通じて、合計 680 万ドルを非営利団体に寄付しました。

United Way of Metropolitan Dallas はテキサス州北部で、近隣住民すべてが教育、収入、健康などの側面で好機を形作る構成要素に確実にアクセスできるようにする複数のプログラムを通じて、永続的な変更を作り出すうえで重要な役割を果たしています。United Way はパートナー団体と協力して熱心に働き、収入の低下、食事の不安定、医療の欠如などの不均等にあえぐ近隣住民の生活を改善するための永続的な変化をもたらそうとしています。

TI の従業員が米国内で実施した寄付の影響を 2 倍にするために、TI 従業員と退職者が適格な非営利団体に寄付した金額に対し、TI Foundation (TI 財団) はマッチング・プログラム (従業員の金銭的貢献に対して同額を寄付する) を実施し、1 年間で最大 3 万ドルを支出しています。2021 年に、TI Foundation はマッチング・プログラムの形で、1,120 万ドル近くを提供しました。

*TI Foundation は、TI の 501 (c) (3) 慈善団体です。
この財団は主に、テキサス州北部と米国内で寄付を行っています。



ボランティア活動

TI の従業員には、自らが活動するコミュニティへの返礼をし、生活の質を向上させるという熱意があります。TI には、コミュニティに關与するグローバルなチームが 20 以上あるほか、市民気質を持つ他の従業員は地域のニーズを解決するために熱心に働いています。これらのグローバルなチームはお互い協力し合い、STEM 分野での生徒の指導、ロボット・コンテストの指導、フード・バンクやホームレス向けシェルター関連のボランティア活動、公園の清掃、植樹、他の方法で貴重な時間を費やしてコミュニティへのサービスの提供を行っています。

2021 年の貢献

パンデミックが原因で対面活動の機会は限定的でしたが、TI 従業員は合計 119,547 時間の時間を費やしました。これを金額に換算すると²³、360 万ドルに相当します。米国内で、TI Foundation は従業員のボランティア活動時間に対し、1 人あたり年額 1,000 ドルを上限として、経済的価値に見合った金額をマッチング・ギフトの形で支出しています。その結果、各従業員の好む運動のために、合計 357,088 ドルの追加支援を実施しました。

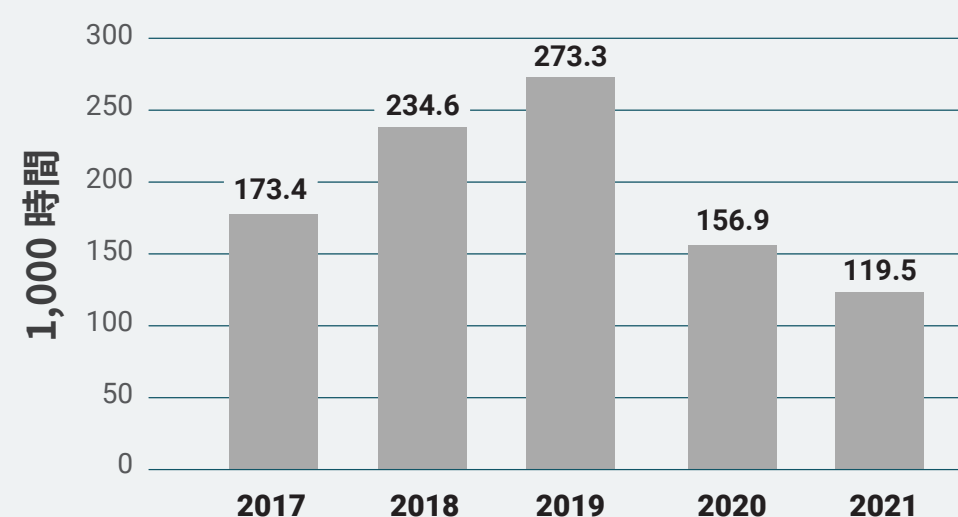
COVID-19 への対策が原因で、TI 従業員が時間と才能を提供する方法や場所が制限されましたが、より強力なコミュニティを育成するために TI 従業員が活動を実施する理由がパンデミックによって変わることはありませんでした。たとえば、従業員とコミュニティ関与チームは、次のような場所で活動しました。

- オンライン・ボランティア・プロジェクトに参加した米国の複数の拠点は、貧困、食糧不足、経済的不安定と戦うパートナー非営利団体である United Way を支援しました。
- 米国テキサス州ダラス、フィリピン、日本、マレーシアは、フード・ドライブ (賞味期限の近い余剰食料などの活用) を継続し、生活苦の家族に食料を配布しました。
- ドイツ、米国テキサス州ダラス、フィリピンは、生徒の指導と家庭教師をオンラインで実施し、TI のエンジニアがどのような人物なのかをそれらの生徒に伝えました。

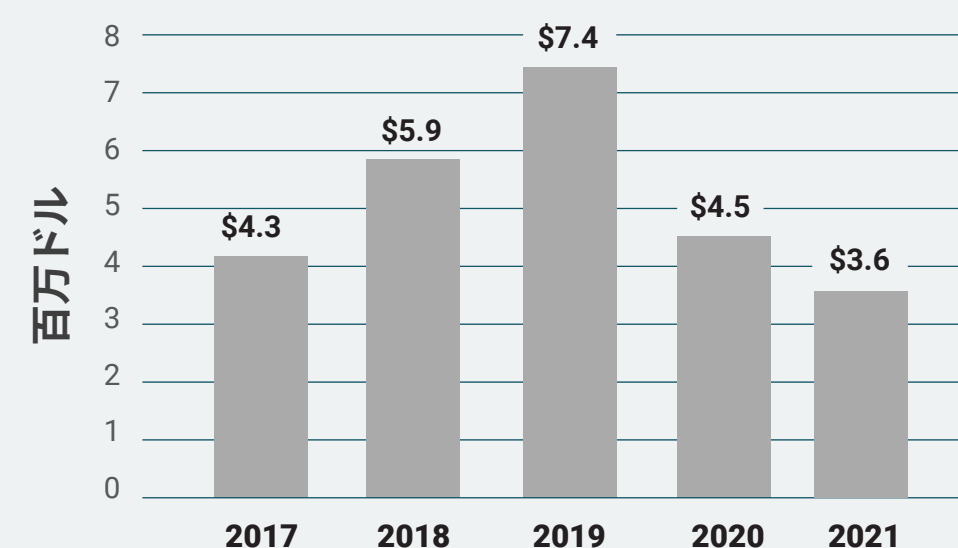
- 欧州とアジアは環境の懸念に対処し、毎年 9 月中旬の [World Cleanup Day](#) (ワールド・クリーンアップ・デイ) に公園の清掃や近隣住民の支援を行っています。
- 人事部門は Girl Scouts of Northeast Texas (テキサス州北東部のガール・スカウト) と連携し、従業員の採用、研修、従業員への関与を重視した 3 つのスキルをベースとしてボランティア活動に取り組み、多様性と包括性の重視を強めていた同団体を支援しました。

TI がコミュニティ・シティズンシップを管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI 指標) の Local Communities (地域コミュニティ) と、201-1 のインジケータ (指標)、および [Education engagement](#) (教育への関与) をご覧ください。

ボランティアの時間数



ボランティア活動時間の換算金額



2021 年 7 月に歴史的な洪水が欧州の広い地域に大きな被害をもたらした後、ドイツのフライジング拠点で働く従業員たちは迅速に行動し、救援資金の増額、一時的なインフラの建設、洪水によって自らの電卓を失った生徒への電卓の支給という形で、近隣住民を支援しました。それらの従業員の行動は、より強力なコミュニティを構築、時には再構築しようという TI の取り組みを体現しています。

加えて、フライジングで働く従業員たちは、ドイツの Federal Agency for Technical Relief (THW: 連邦技術救助団体) と協力してボランティア活動に取り組み、THW のスペシャリスト・グループと協力してオンサイトで支援を行い、ドイツを流れる Ahr River (アー川) で洪水によって流された元の橋の代わりに、一時的な代替手段として同川をまたぐ橋を建設しました。一時的な橋の建設は、その地域にある複数のコミュニティが再び移動できるようにするための重要なステップでした。その結果、救援とインフラに関する活動がそれらのコミュニティに到達するようになりました。

²³この換算金額は、Independent Sector (独立セクター) という独立団体が算出した値に基づいています。同団体は、2021 年の各従業員ボランティアの時間単価を 29.95 ドルと推定しました。

グローバル規模の影響を及ぼす週

TI の従業員が主導するコミュニティ関与チームは、年末のホリデー・シーズンに互いに協力し、感謝と寄付を重視して、より強力なコミュニティを築き上げるためのボランティア活動と返礼を進めました。世界各地で、これらのチームは私たちの健康と安全を維持するために働いている人たちに感謝を表明し、困難に直面しているそれらの人たちの生活を少しでも楽にし、TI が事業を営む地域に住む近隣住人が恩恵を受け取れるようにしています。

米国カリフォルニア州とテキサス州ダラスの病院や消防署で働くエッセンシャル・ワーカーは、年間を通じてコミュニティの安全と健康を維持するための「ヒーロー的」な働きを感謝され、食事や感謝の意を記載したノート、グッディバッグを受け取りました。

グローバルなボランティア活動は、私たちの近隣住民の中で最も弱い立場の人々、つまり子供、高齢者、食糧不足の人々、屋外で過ごす人々を重視しています。TI 従業員は地域のパートナーと協力して働き、ドイツ、フィリピン、米国テキサス州とユタ州に住む数百人の子供と青少年に、ギフト、書籍、食べ物を贈りました。米国メイン州ポートランドやテキサス州シュガーランドに住む複数の高齢者は、基本的な家庭用品と衛生用品、および激励の言葉を記載したノートを TI の従業員から受け取りました。

日本では、茨城県美浦村の製造拠点の近くに住む、食事が不安定な家族向けに、複数のチームが食料を収集しました。米国テキサス州シャーマンでは、以前に監禁されたことのある若者や家庭内で虐待の被害者になったことのある人々を対象とした地域チャリティで、TI 従業員が欲しいもののリストの物品を調達して提供しました。米国テキサス州ツーソンとダラスでは、TI 従業員とその家族が 600 以上の石に、親切と激励のメッセージを記入し、学校やホームレス向けシェルターに配布しました。



将来の予測に関する記述の注意事項

この通知には、1995年に成立した民事証券訴訟改革法により規定される法的責任からの免責条件を満たすことを意図した「将来の予測に関する記述」が含まれています。一般的に、これら将来に向けた記述は、TIとその経営陣による、「believes」(確信する)、「expects」(期待する)、「anticipates」(予測する)、「foresees」(予見する)、「forecasts」(予期する)、「estimates」(推定する)、などの単語から明らかです。同様に、TIの事業戦略、見通し、目的、計画、意図、目標に関する記述は、将来の見通しに関する記述です。将来の見通しに関する記述はいずれも特定のリスクや不確定要素を含む可能性があり、実際の結果が予測と大きくかけ離れる可能性があります。これらの要因に関する詳細な説明については、SECが保管している2021年第1四半期のform 10-Q(英語)に記載されている「リスク要因」をご覧ください。この通知に含まれている「将来の見通しに関する記述」は、この通知を作成した時点で作成したものです。

TIは、その後の出来事や状況を反映する目的で、「将来の見通しに関する記述」を更新する義務を負いません。